

潮江南小学校区
津波避難計画書

平成 26 年 3 月作成
令和 7 年 3 月改訂

潮江南防災連合会

目 次

page

第1章	はじめに.....	1
第2章	地区別津波避難計画の目的.....	2
第3章	想定される地震・津波と被害想定.....	3
第1節	高知市全体の予測.....	3
第2節	潮江南小学校区の予測.....	8
第4章	潮江南小学校区の概要.....	12
第1節	地形・地質的な特徴.....	12
第2節	社会環境.....	15
第5章	潮江南小学校区の津波避難の考え方.....	20
第1節	避難行動の考え方.....	20
第2節	緊急避難場所.....	24
第3節	避難困難地域の検討.....	29
第4節	津波避難経路.....	31
第6章	津波避難計画の検証.....	32
第1節	津波避難計画検証の流れ.....	32
第2節	令和2年4月 潮江南地区アンケートの実施.....	32
第3節	アンケート結果：緊急避難場所について.....	34
第4節	アンケート結果：避難の際不安に感じることにについて.....	37
第5節	みなみフォーラム・ワークショップの実施.....	38
第6節	地区防災計画の検討について.....	41
第7章	潮江南小学校区の津波避難における課題と取組.....	42
第1節	避難行動の課題.....	42
第2節	課題の解決に向けた取組.....	44
第8章	検討経緯.....	47
第9章	南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難.....	52

巻末資料

- ① 潮江地区緊急避難場所一覧
- ② 臨時情報について
- ③ 潮江南小学校区津波避難行動支援マップ（平成 27 年度作成）

第1章 はじめに

高知県真下付近で発生すると予測されている南海トラフ地震は、今後 20 年以内に 60%程度、30 年以内に 80%程度、40 年以内に 90%程度（地震調査研究推進本部：令和7年1月現在）の高い確率で発生すると言われていています。また、内閣府が平成 24 年 8 月に発表した「南海トラフの巨大地震^{※1}の被害想定について」ではマグニチュード 9.1 と、東日本大震災のマグニチュード 9.0 を上回る規模の地震の発生を予想しています。

高知市においても、過去の南海地震で繰り返し被害を受けてきたことを踏まえ、「南海トラフの巨大地震」が発生した場合でも、被害を最小限に軽減するために市民と事業者、市などが一体となって対策を進める必要があります。

高知県が平成 25 年 12 月に公表した「高知県津波避難計画策定指針」では、津波浸水の予測される区域内の自主防災組織などは、津波からの円滑な避難を行うために、「地域（地区別）津波避難計画」を作成することが規定されています。

そのため、津波被害から命を守るために、市民一人一人が「津波から避難する」意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な高台や津波避難ビルなどへ迅速に避難することを目的として、潮江南防災連合会は「潮江南小学校区 津波避難計画書」を策定しました。

※1 「南海トラフの巨大地震」とは、東海・東南海・南海地震が連動して同時に発生した場合の地震のことで、発生頻度は極めて低いが、科学的見地により発生する可能性のある最大クラスの地震です。

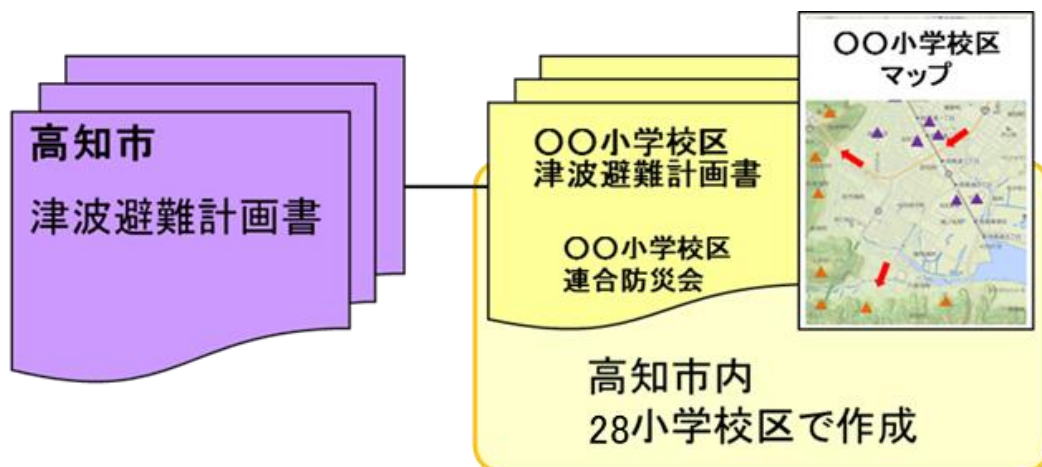


図 1 小学校区毎の津波避難計画の位置付け

第2章 地区別津波避難計画の目的

高知市は、南海トラフ地震と津波によって大きな被害が想定されています。大きな災害に襲われるおそれのある地域で暮らす私たちにとって、災害に備えることは、安心に暮らす上で必要不可欠なことです。その手段は、地域の現状と想定される災害について「正しく知り」、「正しく恐れ」、「正しく行動する」ことです。

地区別津波避難計画は、地震発生から、津波が終息するまでの間、どのような状況に陥っても、あきらめず自らの命を守る適切な行動が取れることを目的として、自主防災組織等が、自らの行動計画として策定するものです。

行動計画策定や改訂に至る経緯、避難訓練等で明らかとなった課題をこの計画書に明記し、地域住民が主体となって、行政や学校、事務所等と連携して解決に向けた取組を継続します。

なお、この計画書では地震発生から津波警報が解除されるまでの避難について主に記載しています。避難生活をする避難所に関する情報やルールなどについては、別に検討します。

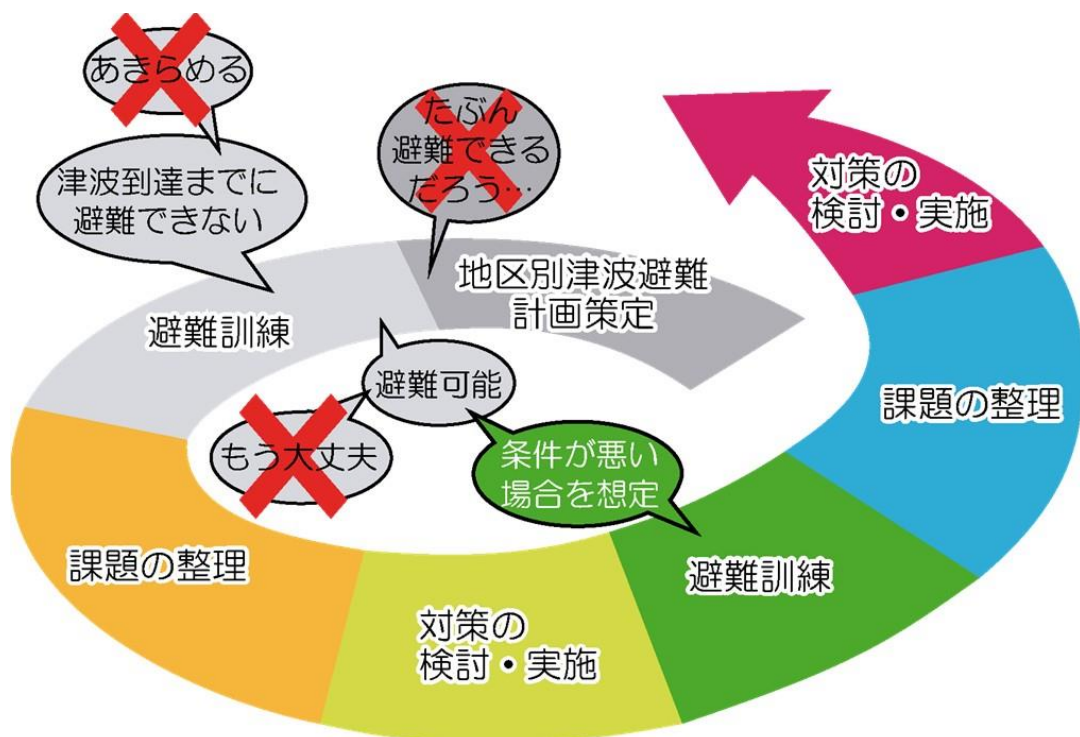


図2 津波避難計画策定からスタートする地域の津波対策のイメージ
(出典：地域津波避難計画点検マニュアル(平成25年12月高知県))

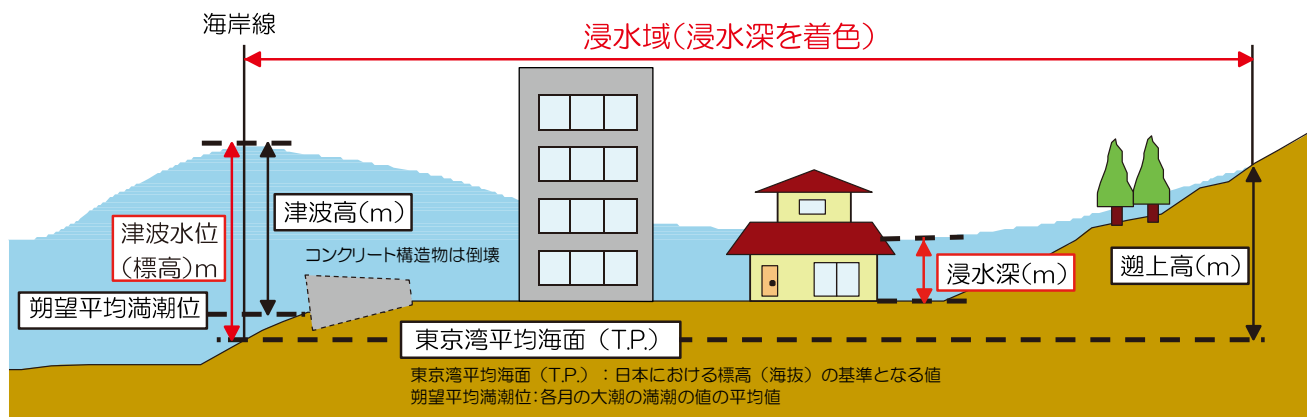
第3章 想定される地震・津波と被害想定

第1節 高知市全体の予測

高知県が平成24年12月に発表した「南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」の結果概要は以下のとおりです。

表1 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測の概要

想定地震	南海トラフの巨大地震（内閣府中央防災会議モデル：平成24年8月）
地震規模	マグニチュード9.1（津波断層モデル）
予想震度	震度6弱～7（高知市）
津波予測における潮位	朔望平均満潮位：T.P.+0.93m
津波予測における構造物の取り扱い	<p>【堤防】 土で築造された堤防は、地震前の高さの25%に沈下し、津波が越流し始めた時点で「堤防なし」とする。 コンクリート構造物は、地震により倒壊して、はじめから「堤防なし」とする。</p> <p>【防波堤】 地震により倒壊するとし、はじめから「防波堤なし」とする。</p> <p>【水門など】 耐震化され、自動降下対策済み、または常時閉鎖の施設は水門が閉まっているものとする。これ以外の水門などは開いているものとする。</p>



※津波浸水深とは、津波により水に浸かってしまう地面からの高さを示す。
 ※朔望平均満潮位とは、朔（新月）及び望（満月）の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値を示す。
 ※T.P.とは、東京湾中等潮位。地表面の標高、すなわち、海面からの高さを表す場合の基準となる水準面を示す。

図3 津波高・浸水深のイメージ

津波からの避難行動を考える場合、津波浸水予測図や、津波浸水予測時間図が参考となります。また、来襲する津波の方向や挙動を表したアニメーションは、避難の方向や避難時間を把握する上で大変参考になるものです。

潮江地区では、浦戸湾口に近い南側からの浸水と、鏡川の河口付近を遡上した津波による地区東側からの浸水が想定されています。これらの予測結果を頭に置いて緊急避難場所や津波避難経路を選定することが重要です。

【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波のアニメーション

高知県 HP : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/tsunami-anime.html>

(資料1 高知市全体の地震・津波予測)

[高知市の震度分布図]

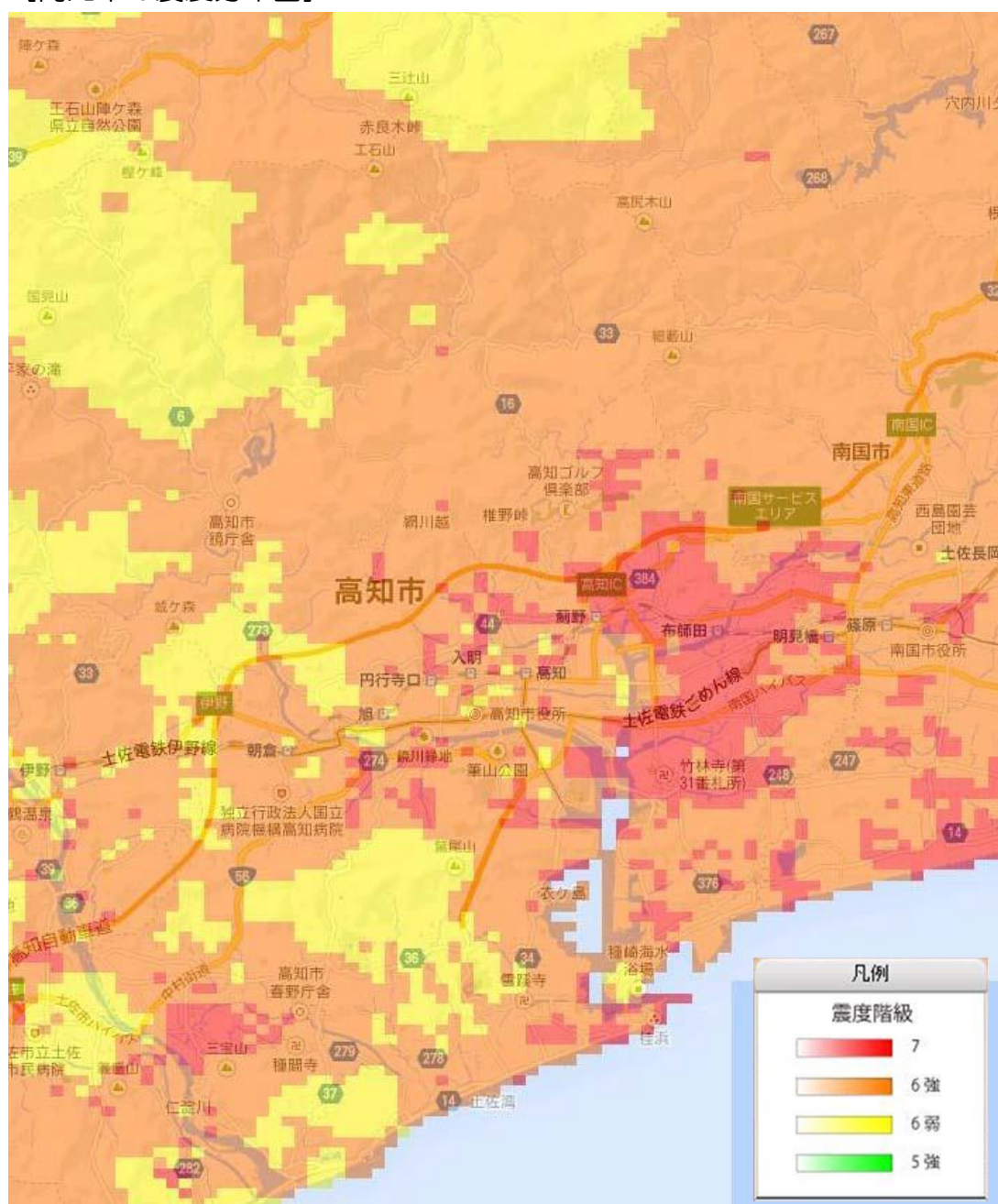


図 4 高知市の震度分布図 (出典：高知県 HP より)

[高知市の津波浸水予測図]

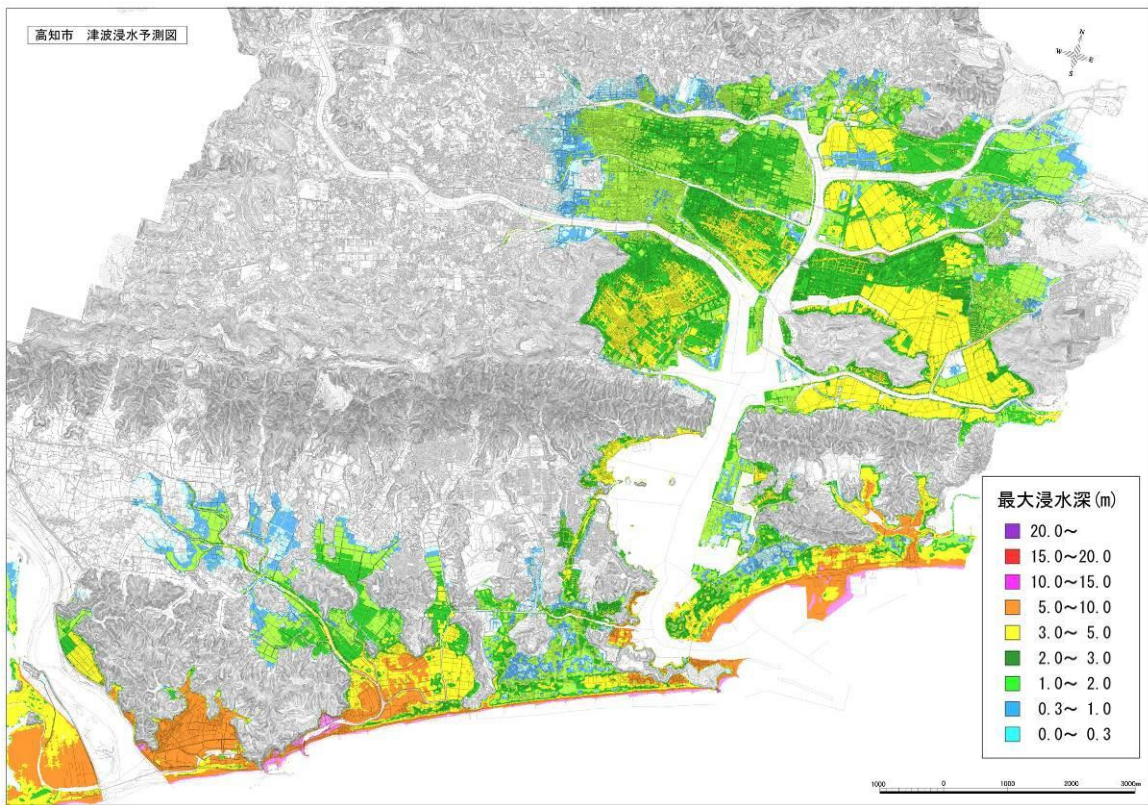


図 5 高知市の津波浸水予測図

[高知市の津波浸水予測時間図]

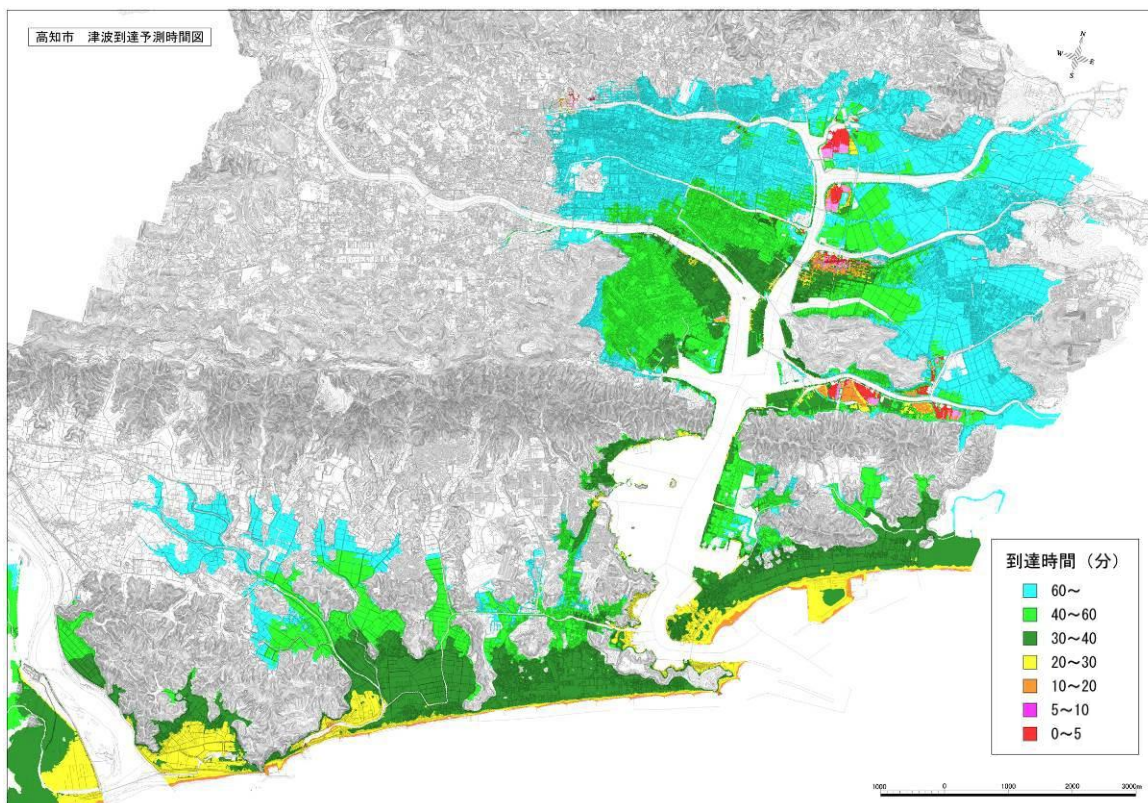


図 6 高知市の津波浸水予測時間図

●長期浸水とは

地震が発生すると地盤の変動により、標高の低い土地が海面より低くなり長期に渡って浸水するおそれがあります。これが「長期浸水」です。

最大クラスの地震による長期浸水予測 (L2)

想定最大地盤沈降量：-1.7m (ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定)

想定対象潮位：T.P.+0.9m

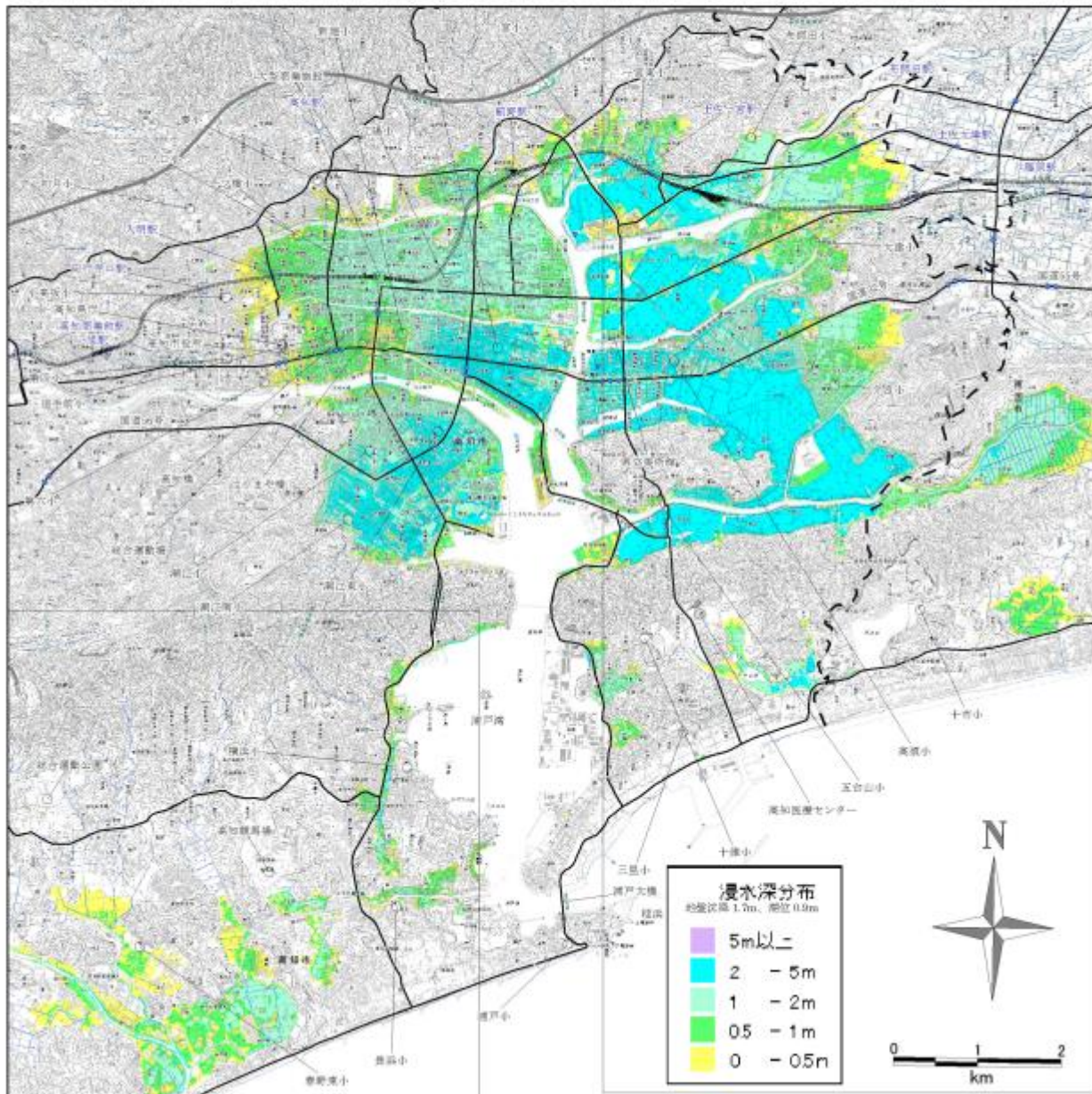


図 7 高知市長期浸水予測図 (出典：南海トラフ地震長期浸水予測図)

(資料2 高知市全体の地震・津波による被害想定)

① 建物被害：棟数 約 104,000 棟

(出典：「南海トラフ巨大地震による被害想定」(資料2：市町村ごとの被害 2ページ)
平成 25 年 5 月)

表2 高知市における地震及び津波による建物被害の想定

被害の要因	全壊棟数 (棟)		半壊棟数 (棟)
	現状	対策後	現状
液状化	340	-	1,400
揺れ	32,000	5,000	29,000
急傾斜地崩壊	260	-	230
津波	16,000	-	22,000
地震火災	2,800	-	-
合計	52,000	-	52,000

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

② 人的被害(平成 17 年度国勢調査)：高知市総人口 350,426 人

(出典：「南海トラフ巨大地震による被害想定」(資料2：市町村ごとの被害 2ページ)
平成 25 年 5 月)

表3 高知市における地震及び津波による人的被害の想定

被害の要因	現状			対策後		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者
建物の崩壊	2,100	11,000	6,300	270	3,000	1,700
急傾斜地の崩壊	40	40	20	-	-	-
津波	10,000	840	290	590	0	0
火災	280	200	60	-	-	-
ブロック塀等の倒壊	若干数	若干数	若干数	-	-	-
合計	12,420	12,080	6,700	860~	3,000~	1,700~

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

第2節 潮江南小学校区の予測

高知県が平成24年12月に公表した南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測とそれに基づく被害想定によれば、潮江南小学校区では、以下のような想定がなされています。

- 潮江南小学校区の想定震度は最大震度 7であり、揺れによる建物などの倒壊、屋内落下物による人的被害、火災の発生が想定される。
- 津波想定浸水深は最大で3~5mであり、建物の2階を越える。
- 津波浸水予測時間は、竹島川河口付近で30分、その他の地区で40~60分と想定されている。
- 液状化のおそれが非常に高く、避難行動において道路の凹凸、杭基礎構造物との不等沈下、マンホールの突出などを想定する必要がある。



図 8 揺れによって想定される被災状況

(出典：地域津波避難計画点検マニュアル(平成25年12月高知県))

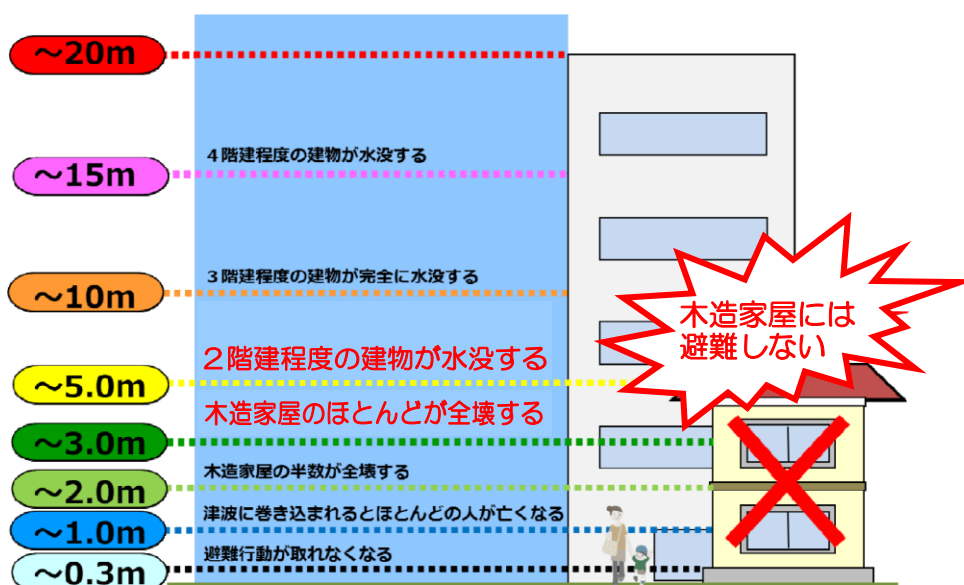


図 9 津波浸水深の目安

(出典：高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測 平成24年12月10日 高知県)

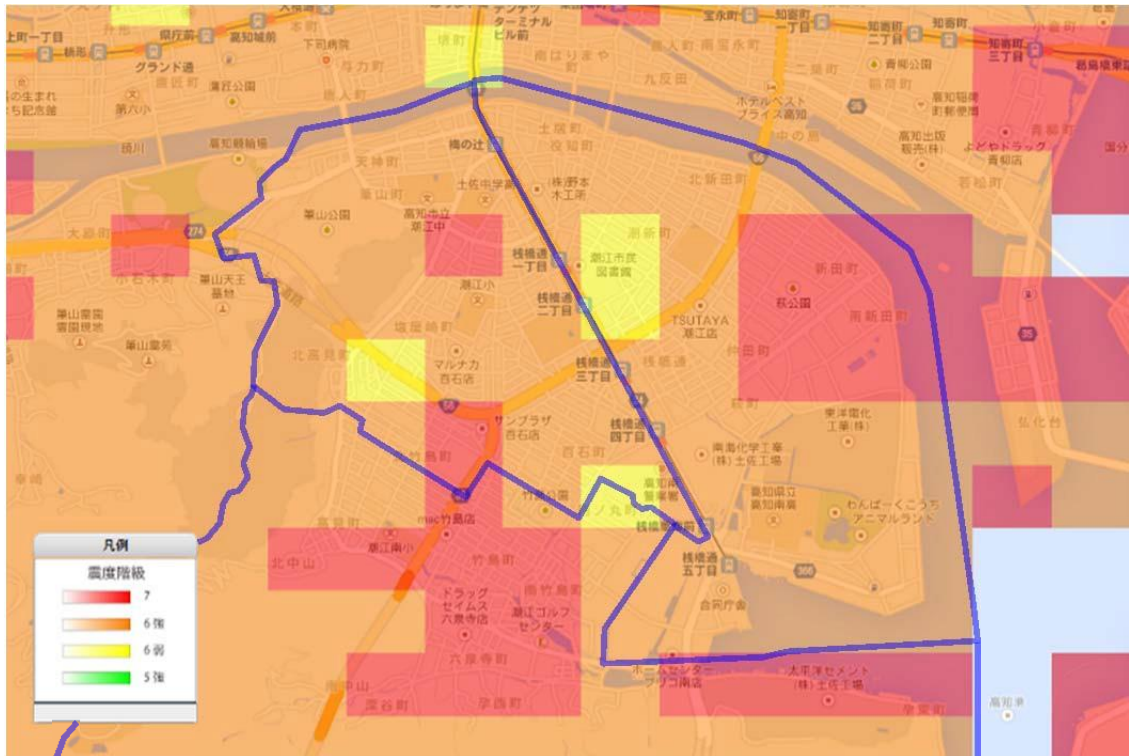


図 10 震度分布図（最大クラスの重ね合わせ）（出典：高知県 HP より）

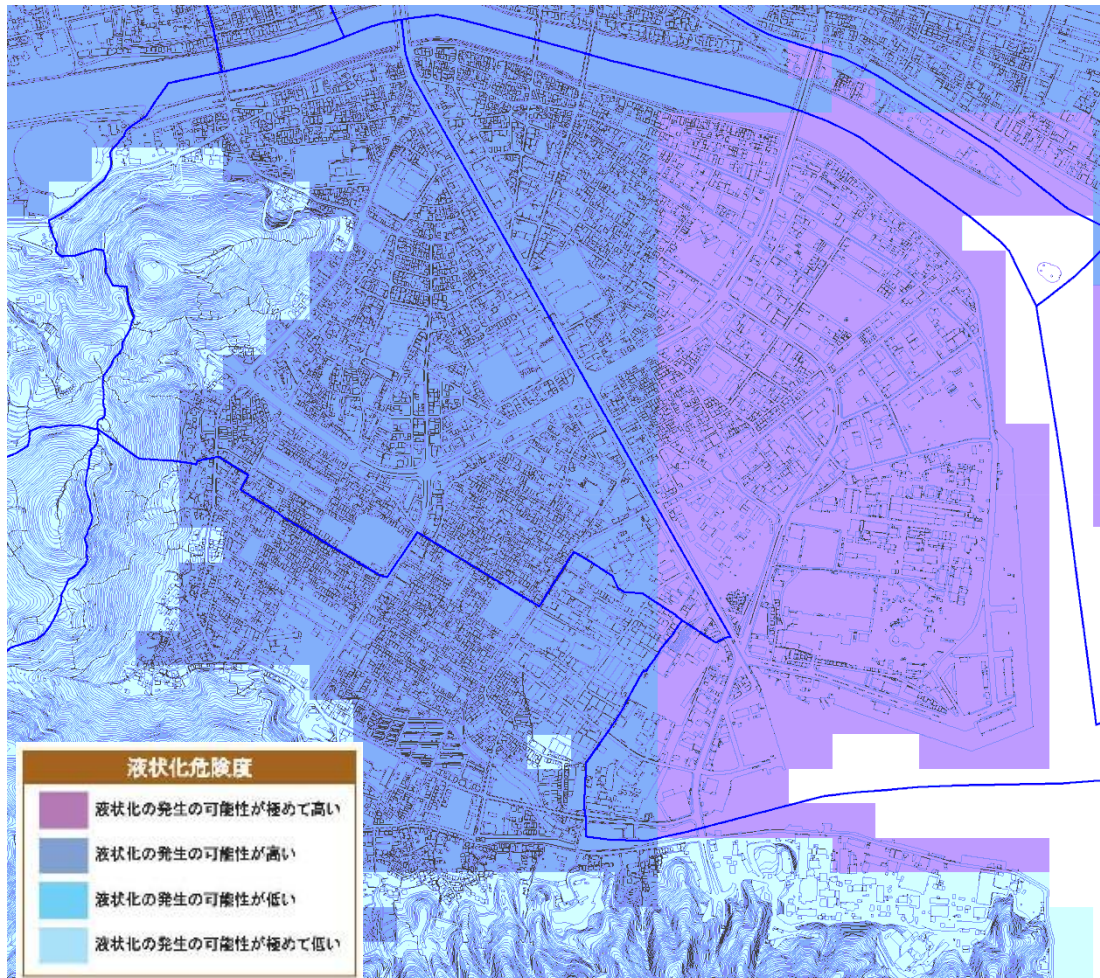


図 11 液状化危険度図（高知市地震ハザードマップ平成 23 年 5 月）

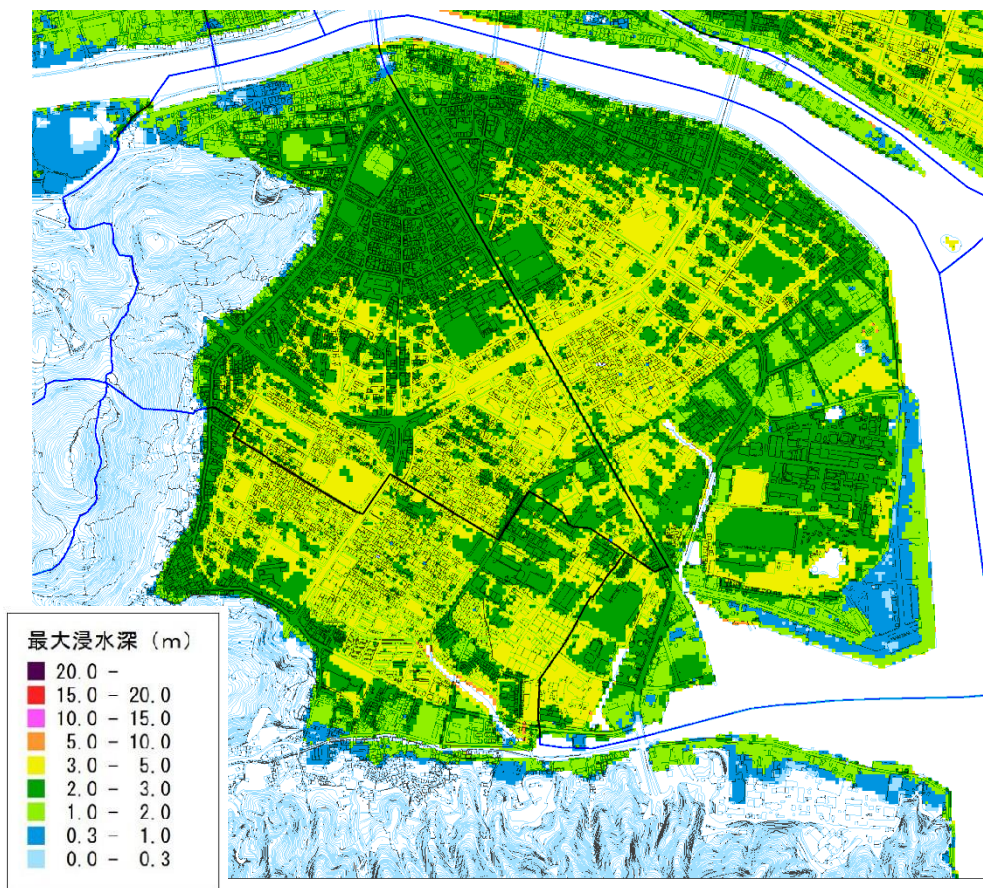


図 12 津波浸水予測図

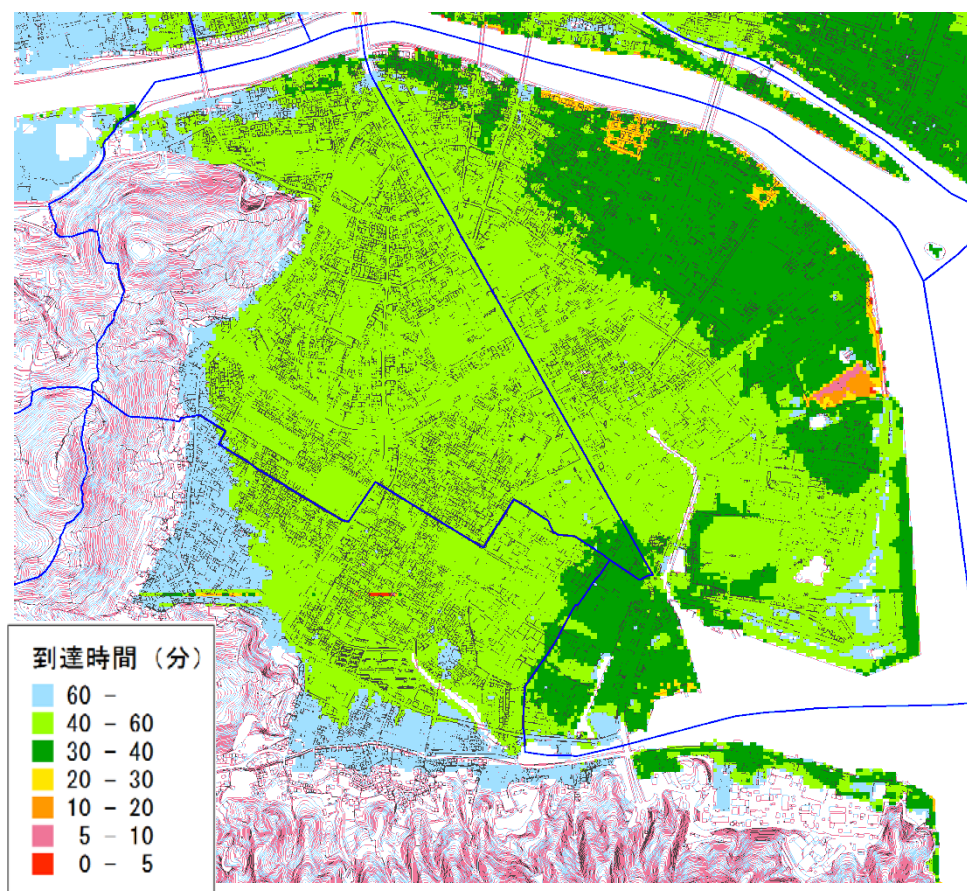


図 13 津波浸水予測時間図

最大クラスの地震による長期浸水予測 (L2)

想定最大地盤沈降量：-1.7m (ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定)

想定対象潮位：T.P.+0.9m

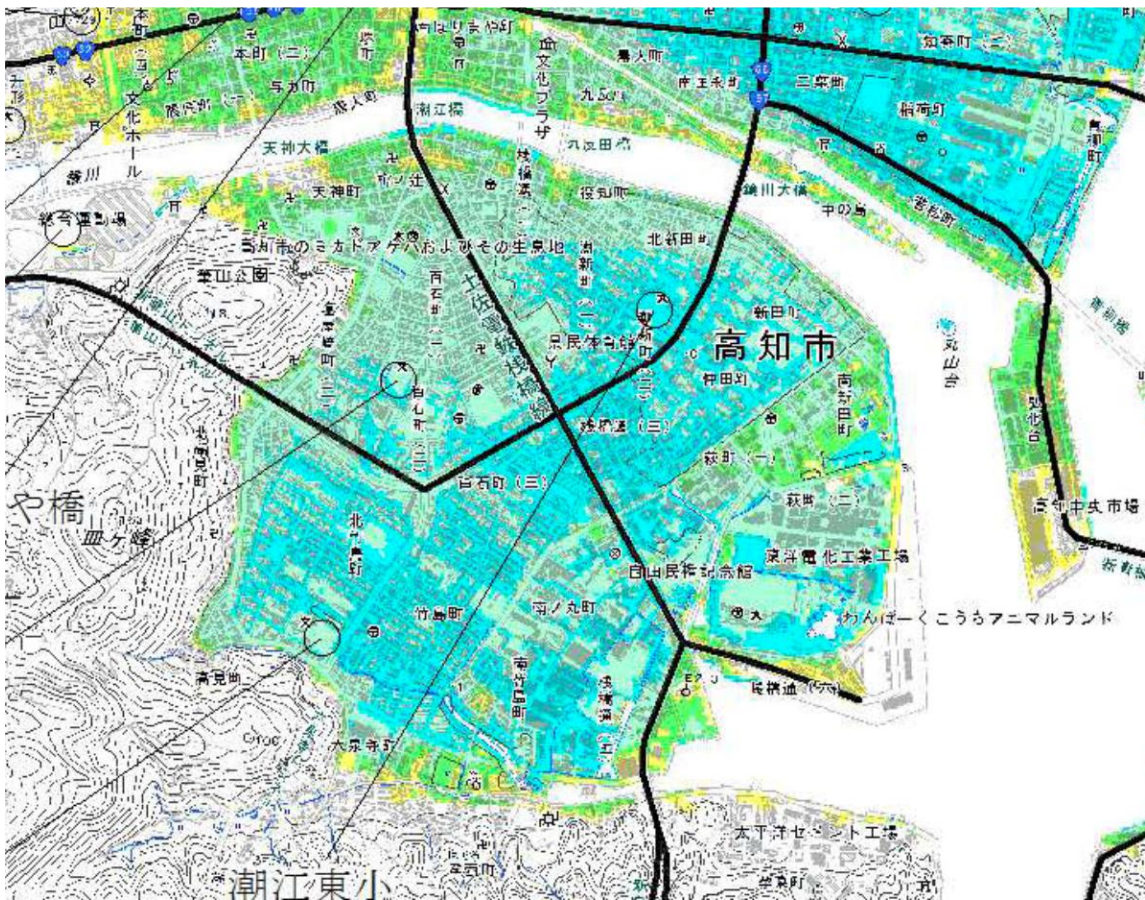


図 14 潮江地区長期浸水予測図

第4章 潮江南小学校区の概要

第1節 地形・地質的な特徴

潮江地区は、図15に示すように、河川や海岸の堆積作用によって形成された低地に盛土し、市街地が形成されています。

潮江南小学校区の避難行動に影響を与える地形・地質的な特徴は以下のとおりです。

地形・地質的な特徴	避難の際の留意点
海拔0～2m程度の低地が地区の大部分を占める 平坦地は、河川・海岸の堆積作用によって形成された地盤である	地盤変動（沈下）による浸水の長期化 液状化のおそれ
西側、南側に自然地形の高台を有する	高台まで逃げ切れない地区がある
西側斜面（筆山、皿ヶ峰）は、急傾斜地であり、高台への上がり口が限定される 斜面は落石等のおそれがある	複数の上がり口や緊急避難場所となる広場を事前に確認する ヘルメットを携行する
南側斜面（宇津野山）は、過去に土砂災害（土石流）が多く発生している	扇状地地形により避難路の勾配が緩く、高台の緊急避難場所へのアクセスは容易であるが、急斜面に近づくると土砂災害のおそれがある

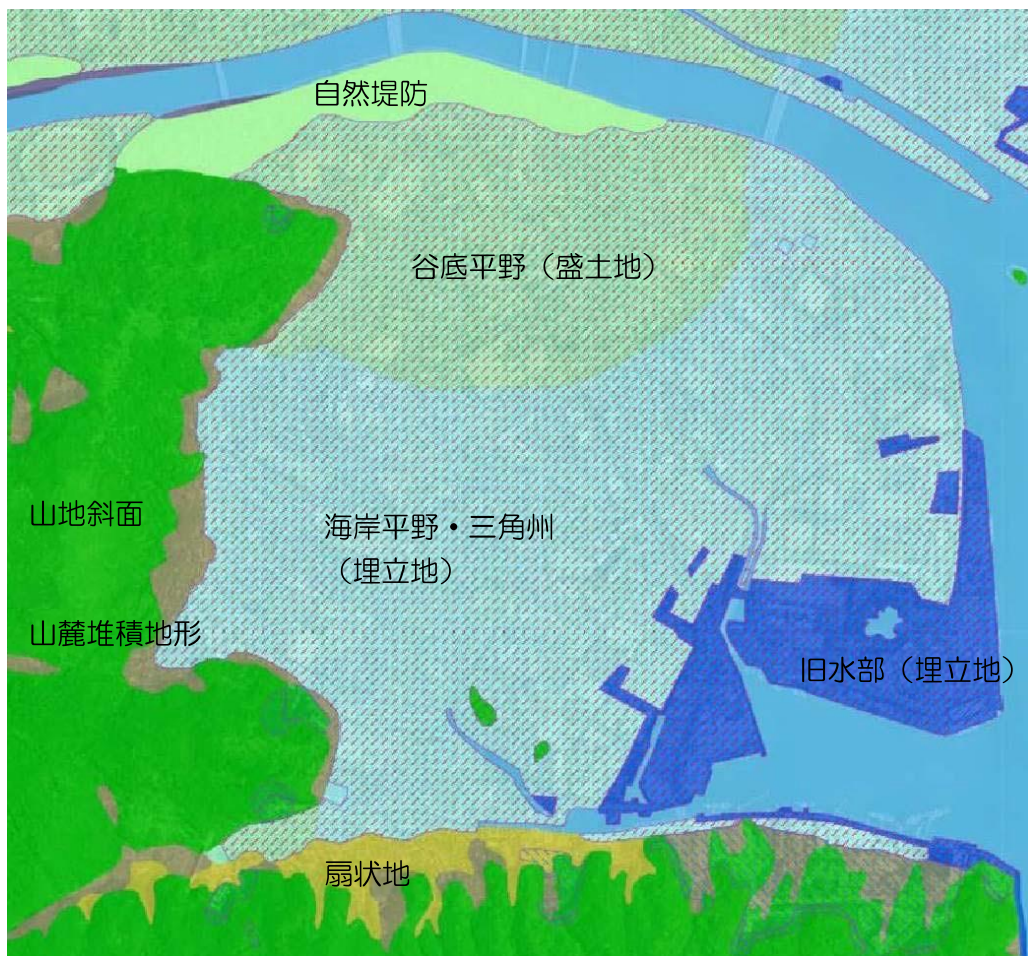


図15 潮江地区の地形の成り立ち
 （国土地理院 数値地図25000（土地条件）を基に作成）



図 18 潮江地区の地形・環境図

第2節 社会環境

潮江南小学校区の避難行動に影響を与える社会環境的な特徴は以下のとおりです。

社会環境の特徴	避難の際の留意点
<p>昼間と夜間では、<u>人口分布が異なり、夜間の人口が多い</u></p> <p>昼間は、学校や事業所等に多くの人口が集まっている</p>	<p>この計画書では、<u>人口、移動距離、避難速度の低下などを考慮し、夜間を想定する</u></p> <p>ただし、<u>昼間の避難行動は、滞留人口が夜間と大きく異なることから、今後の検討を要する</u></p>
<p>夜間人口は6,815名、世帯数3,809世帯、高齢化率は34.8%と高い（令和6年4月1日現在）</p>	<p>高齢者を含めた幅広い年齢層の避難行動を想定する</p>
<p>旧耐震基準（昭和56年以前）に基づく古い建物の連担地域がある</p>	<p>建物の倒壊による避難路の閉塞等のリスクを考慮する</p>
<p>水際は、河川区域・港湾区域の堤防、護岸が設置されている</p>	<p>耐震性能や耐震補強の実施について、情報の共有を図る必要がある</p>
<p>津波避難ビルの条件を満たす建物が棧橋通り沿いに集中しており、潮江地区内の他の小学校区に比べて候補となるビルが少ない</p>	<p>地域と行政が協働で津波避難ビル交渉を行うなど、選択肢をできるだけ増やす</p>
<p>高知港の整備とともに古くから工業地帯が形成されている</p>	<p>事業所や工場の安全性や、従業員の避難行動などについて情報を共有する</p>

■時間帯別の人口について

潮江地区では、図19に示すように、夜間と昼間の滞留人口とその分布が大きく異なります。平成19年度〈第3回〉高知都市圏パーソントリップ調査では、都市部（旭、江ノ口・小高坂、高知駅、本町・はりまや、下知北、下知南）のみ、9時以降の滞留人口が増加し、9～15時台は夜間の約1.4倍の滞留人口となります。その他の地域では、夜間人口が多いと発表されています。このため、潮江地区における今回の計画策定では、夜間人口（高知市住民基本台帳（令和2年7月時点））を想定して検討します。また、潮江地区では、夜間に観光客等が多く集まる施設等は立地していないため、この計画では観光客等の人数は想定していません。

昼間は、事業所や学校、工場等に多くの人が集まっている状況が想定され、避難行動は夜間と大きく異なります。今後は、事業所等の事業継続計画（BCP）や津波避難計画と、潮江南小学校区の津波避難計画の調整を図るなど、昼間も含めていつ地震が起こっても適切な避難行動がとれるよう検討を重ねていく必要があります。

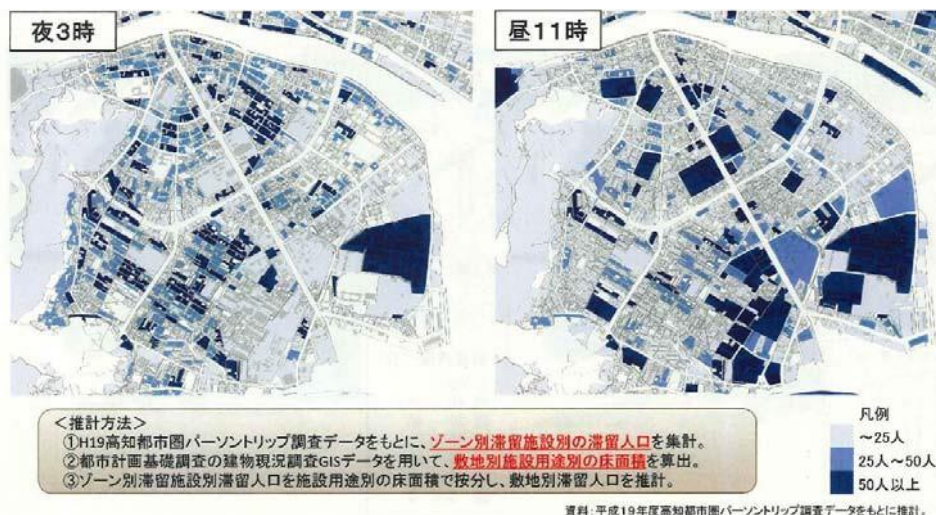


図19 潮江地区における夜間と昼間の滞留人口

■夜間の人口、世帯数、年齢構成

表4 町別の人口、世帯数、年齢構成（令和6年4月1日現在）

町名	人口合計 (人)	世帯数 (世帯)	幼年人口 (人) (15歳未満)	老年人口 (人) (65歳以上)	高齢者率 (%)
高見町	776	404	93	213	27.5
北高見町	787	421	65	267	33.9
深谷町	155	79	7	67	43.2
竹島町	1,697	956	164	593	34.9
北竹島町	1,922	1,089	156	776	40.4
南竹島町	784	468	73	236	30.1
南ノ丸町	366	219	35	99	27.1
南中山	14	10	-	-	-
北中山	51	32	2	23	45.1
六泉寺町	1,252	709	118	493	39.4
孕西町	763	391	65	266	34.9
孕東町	5	3	-	-	-
小学校区の高齢者率→					34.8

出典：高知市総務課調査統計担当

※ 各町の人口が少ない場合は、計のみ表示し、内訳は秘匿している。

※ 複数の校区に跨る町丁目については、校区外の人口を含むため、校区全体の数値と一致しない。

表5 潮江地区 小・中・高校についての情報

学校名	児童・生徒数 (人)	避難場所としての 収容人数(人)	避難場所	備考
潮江中学校	325	1,921	校舎4階及び屋上	
潮江小学校	257	1,422	中舎及び南舎屋上	
潮江南小学校	243	1,699	北舎4階及び屋上、南舎屋上（コンピュータ室を除く）	
潮江東小学校	223	921	北舎及び南舎屋上	
高知工業高校	868	2,213	1号館、2号館及び3号館の4階教室及び廊下、2号館屋上	生徒数は、全日制と定時制を合計した人数
土佐中学校・高校	1,639	1,736	体育館棟アリーナ	
土佐塾中学校・高校	1,074			

出典 高知市教育委員会学校教育課
高知県教育委員会高等学校課
高知県私学・大学支援課

令和6年度高知市立学校児童生徒数・学級数
令和6年度高知県立高等学校生徒数一覧
令和6年度高知県私立学校名簿

■工場・事業所等の立地状況

潮江地区の南部は、市内でも最も古くから形成された工業地帯であり、多くの事業所や工場が立地しています。

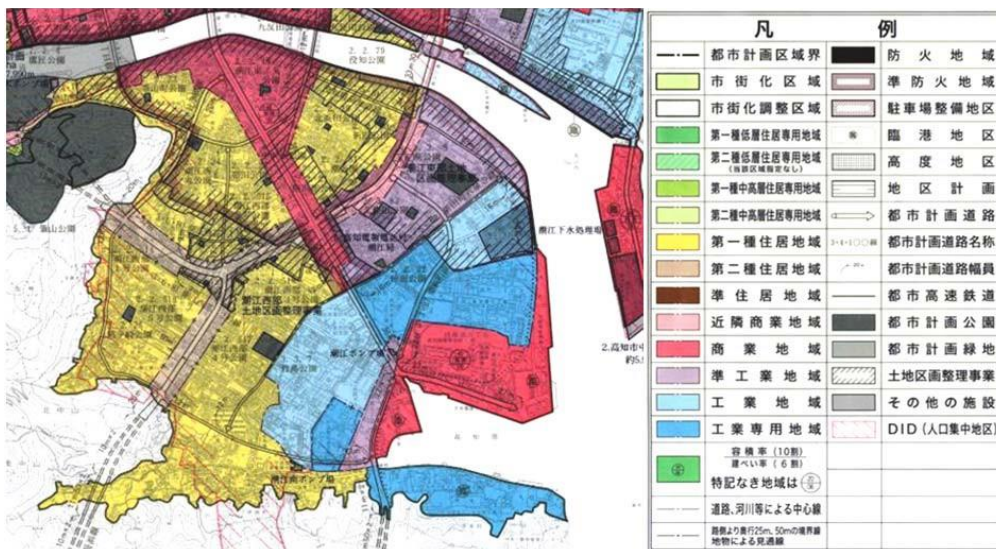


図 20 都市計画図 (出典：高知広域都市計画総括図 (高知県 平成 22 年 3 月))

■鏡川工業用水道 (筆山配水池)

鏡川工業用水道筆山配水池は、筆山の山腹に延長 314m のトンネルをくり抜いて貯水槽 (水量約 41,000m³) とし、その入口及び出口に鉄筋コンクリート製の水槽 (接合井) を接合させた構造となっています。出口側接合井は、北高見町に位置し、施設付近は津波避難場所 (潮江 12) となっています。この施設については、平成 25 年 11 月に高知県公営企業局電気工水課より耐震診断結果が次ページのように報告され、安全性が確認されています。



図 21 鏡川工業用水道位置図 (出典：高知県 HP より)

(耐震診断結果の抜粋)

●耐震診断の方法

最新の指針である「水道施設耐震工法指針・解説 2009 版」(社団法人日本水道協会)に基づき、実際の構造物を忠実に再現した 3 次元解析モデルを作成して、耐震性を確認しました。なお、想定地震動は、新たな想定南海地震(筆山配水池で考えられる最大級の地震、レベル 2)としています。

●結果

新たな想定南海地震に対して「安全」であることを確認しました。なお、トンネル(貯水槽)については、硬い岩盤に築造されており、耐震性があると考えています。

■水際構造物の状況

潮江地区は、鏡川河口部に位置し、高知県が管理する(河川区域及び港湾区域)河川堤防、護岸が整備されています。避難可能時間を確保するため、堤防等の耐震対策について、関係機関に対する情報共有や必要な対策の実施を要望します。

- ① 鏡川右岸堤防は、天神大橋から潮江橋までの区間は旧堤防をもとに整備されたと考えられる構造で、土堤となっている。
- ② 潮江橋から鏡川大橋下流までの堤防は、コンクリート護岸として整備されている
- ③ 南新田町から南部については、コンクリート擁壁護岸となり、工場が立地する区間からは港湾区域となりコンクリート直立護岸が整備されている。
- ④ 土佐電鉄の棧橋電停付近から孕橋にかけての護岸は、南新田町付近と同様に堤体のないコンクリート擁壁である。



①鏡川右岸(土堤)の状況



②潮江橋下流の状況



③鏡川大橋下流の状況



④孕橋より上流側の状況

第5章 潮江南小学校区の津波避難の考え方

第1節 避難行動の考え方

津波からの避難は、できるだけ早く、少しでも高いところへ逃げることが基本となります。地震発生時は、建物被害等による逃げ遅れや、道路被害等による避難速度の低下など、様々な状況が想定されます。複数の選択肢からより安全な避難行動を行うためには、事前に複数の津波避難場所を検討しておくことが重要です。

潮江南小学校区内の緊急避難場所は、筆山などの自然地形の高台と、市が指定した津波避難ビル（以下、津波避難ビル）があります。逃げ遅れた場合には、最後の手段として指定されたビル以外の建物など、少しでも高いところへ逃げる必要があります。これらの選択肢について、表6に整理しています。

また、潮江地区では広域的な地盤変動により地盤が沈下し、浸水が長期化するおそれがあります。筆山などの自然地形の高台への避難は、長期浸水による孤立者を減らす対策にも繋がることから、高知市では緊急避難場所を選定する優先度として以下のように推奨しています。

1 できるだけ自然地形の高台へ

2 高台まで逃げられない方、逃げ遅れた場合は津波避難ビルへ

避難の際の移動手段は、徒歩を基本とします。

表6 緊急避難場所の長所・短所

優先度	緊急避難場所	メリット	デメリット
1	自然地形の高台	<ul style="list-style-type: none">避難可能人数の制限がない長期浸水時でも山伝いにさらなる避難が可能	<ul style="list-style-type: none">地震による土砂災害の影響がある（本震・余震）雨、風の影響を受ける避難移動距離がやや長くなる
2	指定避難所を兼ねる津波避難ビル	津波避難ビルのメリットに加えて、 <ul style="list-style-type: none">一定期間避難生活を送ることがあらかじめ想定されている収容人数が比較的多い	<ul style="list-style-type: none">長期浸水時に自力での移動が困難
3	津波避難ビル	<ul style="list-style-type: none">避難移動距離が最も短くなるケースが多い	<ul style="list-style-type: none">収容人数（スペース）に制限がある地震により施設が被害を受ける可能性がある長期浸水時に自力での移動が困難

【避難所・緊急避難場所の定義】

●避難所とは

災害によって自宅が全壊した場合や水や電気などが使用できない場合に、一定期間生活を送る建物等のことです。その中で、市が指定した避難所を「指定避難所」と言い、小・中学校などを中心に277箇所の避難所を指定しています（令和5年11月1日現在）。

●緊急避難場所とは

津波や火災などから一時的に避難し、身の安全を確保するための自然地形の高台や津波避難ビルなどを言います。この計画書では、津波からの避難場所のみを扱います。

緊急避難場所を選定するにあたっては、津波浸水の予測時間や浸水の方向、津波避難場所までの距離などを考慮する必要があります。潮江中学校区内で想定される津波遡上と避難行動の方向を図23に示しています。

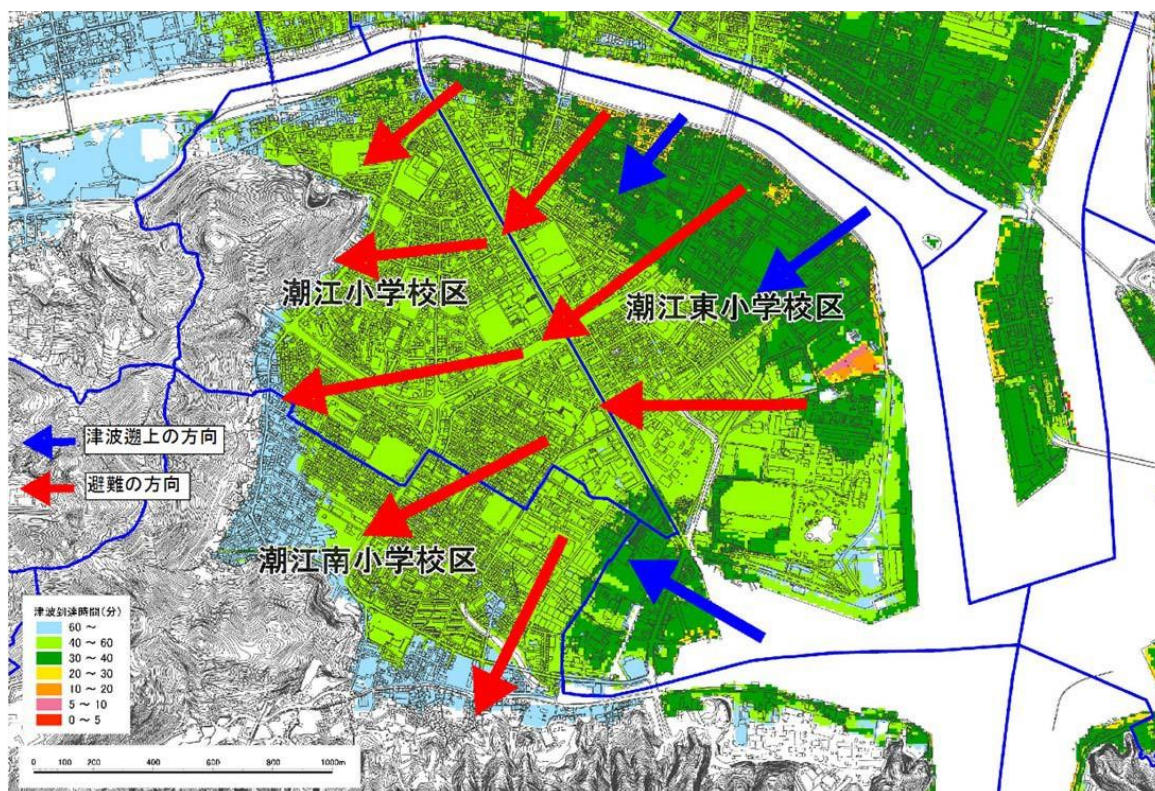


図 23 潮江中学校区で想定される津波遡上と避難行動の方向

避難可能範囲は、以下を目安とします。

■自然地形の高台への避難

避難開始までに必要な時間 $A=10$ 分

津波浸水予測時間 $B=40$ 分

高台までの移動時間 5分

避難可能時間 $C=25$ 分

避難速度 0.6 (m/秒)

移動可能距離 $L=0.6 \times 25 \times 60=900$ m

移動可能範囲の円(半径) $R=900/1.5=600$ m

(自然地形の高台までの避難可能範囲を目安として直線距離 500mのラインを避難行動支援マップに記載)

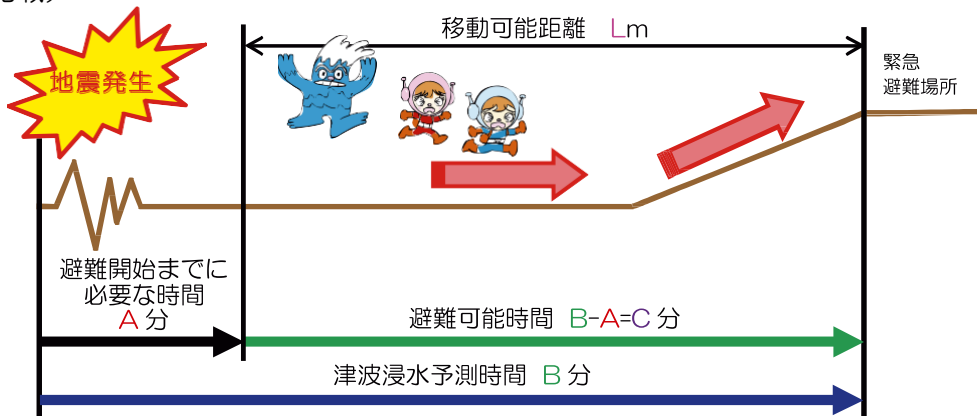


図 24 自然地形の高台への避難 (出典：地域津波避難計画点検マニュアル (平成 25 年 12 月 高知県))

■避難ビル等への避難

避難開始までに必要な時間 $A=10$ 分

津波浸水予測時間 $B=30$ 分

ビル等への垂直避難 $D=5$ 分

避難可能時間 $C=15$ 分

避難速度 0.6 (m/秒)

移動可能距離 $L=0.6 \times 15 \times 60=540$ m

移動可能範囲の円(半径) $R=540/1.5=360$ m

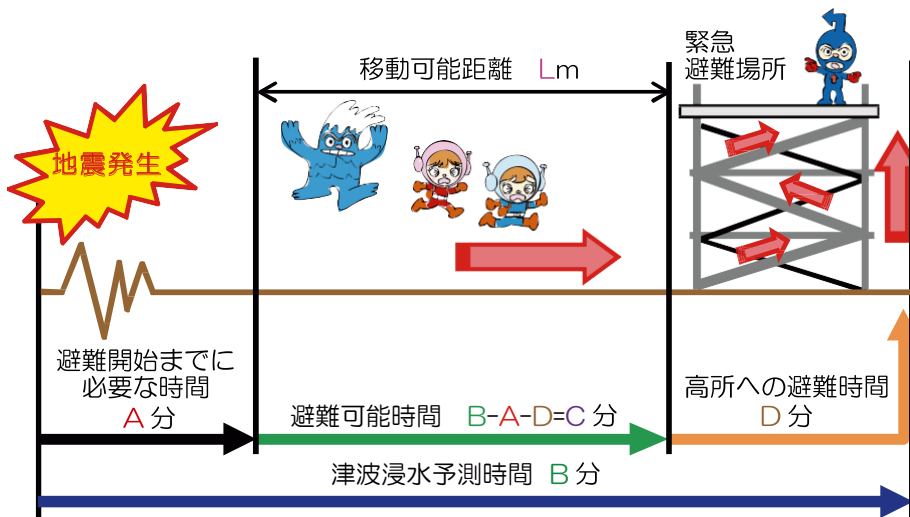


図 25 避難ビル等への避難 (出展：地域津波避難計画点検マニュアル (平成 25 年 12 月 高知県))

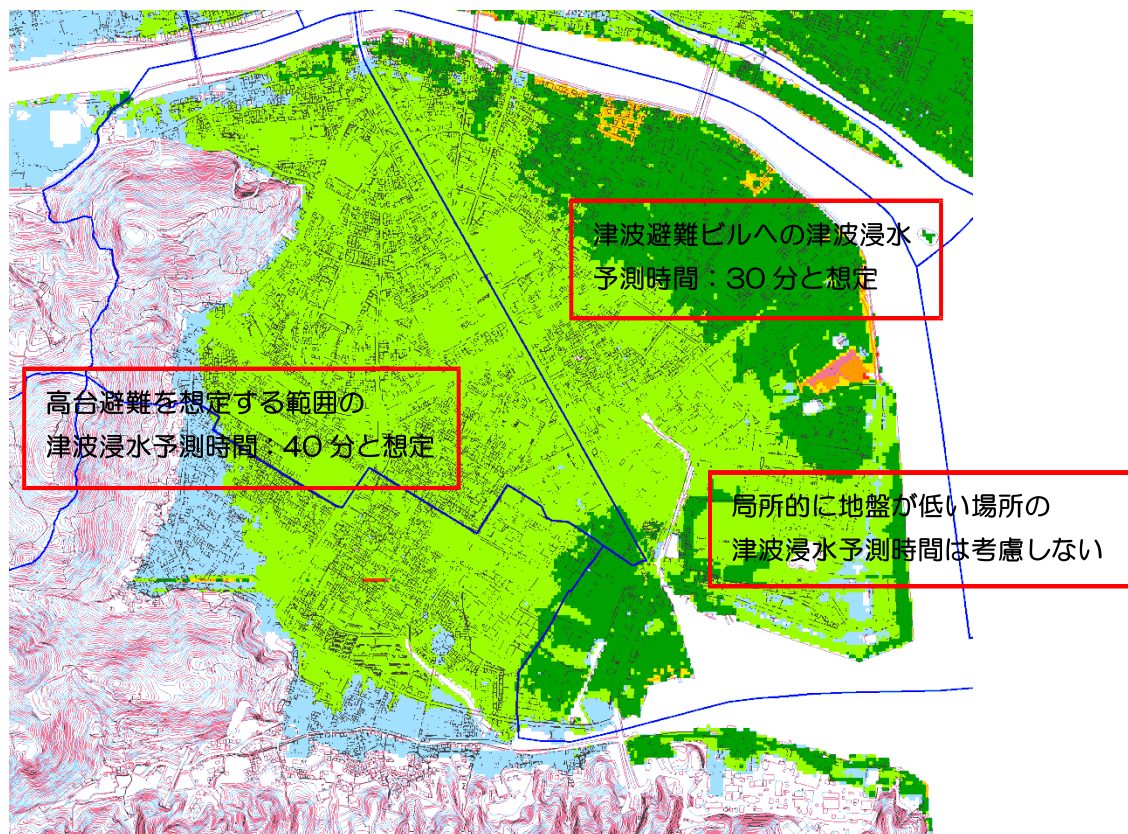


図 26 津波浸水予測時間の設定

第2節 緊急避難場所

(1) 自然地形の高台

平成24年度に実施した潮江小学校区・潮江南小学校区津波避難路整備方針検討会などで検討した箇所を基本として津波避難経路の整備を進めてきました。平成26年度に作成し、令和元年度版に改訂された「潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ」で自然地形の高台や津波避難ビルの場所を確認することができます。令和2年度時点での緊急避難場所の入口や津波避難経路の状況を巻末資料に添付します。

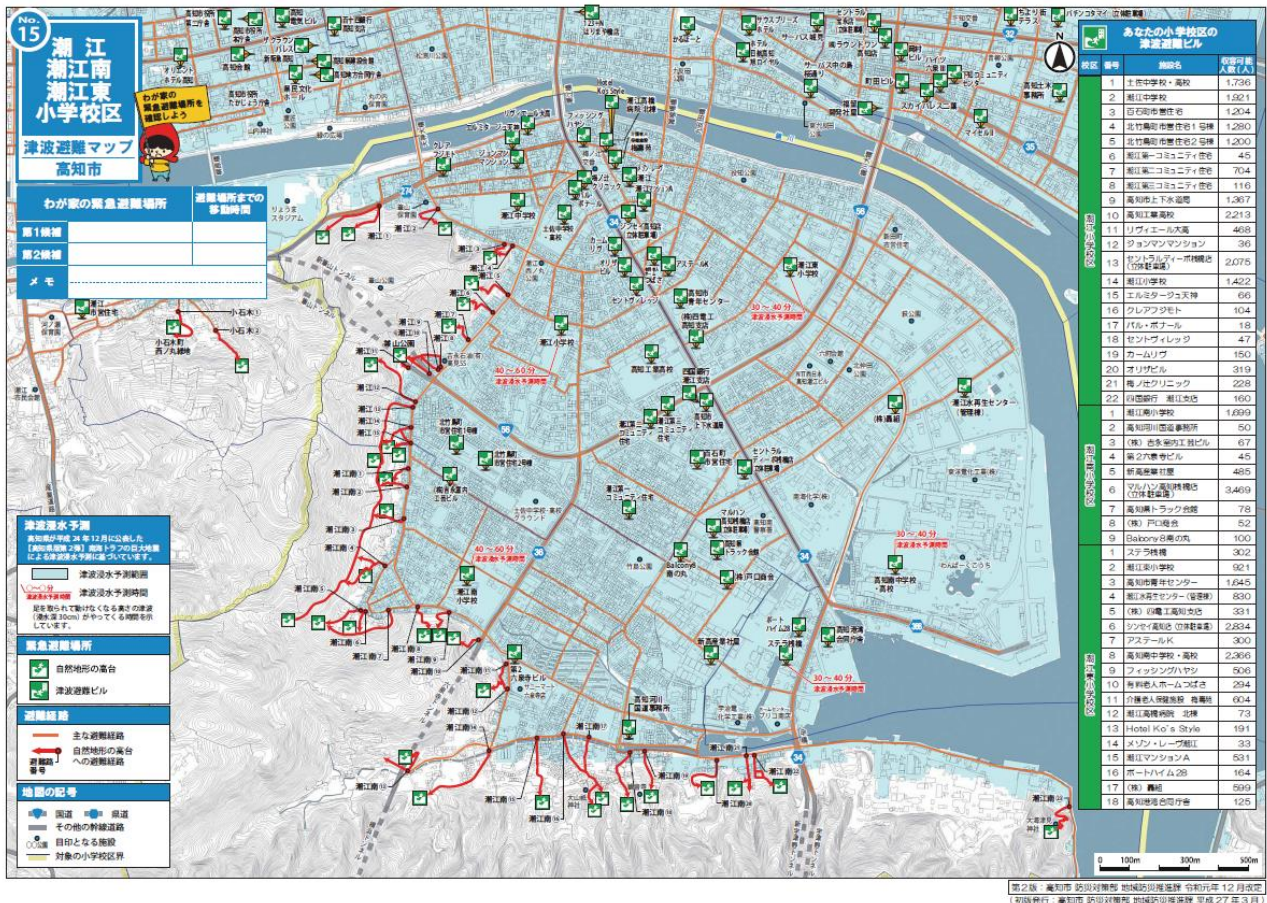


図27 潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ（令和元年12月改訂版）

津波避難マップは高知市地域防災推進課のホームページからダウンロードすることができます。

【潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ】

高知市 HP : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/koutisitunamihinan-map.html>

(2) 津波避難ビル

高知市では、以下のような条件を満たす建物で、所有者やお住まいの方々の同意を得て協定を締結した建物を、津波避難ビルとして指定しています。平成 25 年度は、潮江南小学校区津波避難計画に係る検討会等を通じて、潮江南防災連合会が主体となって、候補ビルへの交渉を行いました。

【津波避難ビル指定の条件】

- ① 昭和 56 年 6 月以降に新耐震基準で施工された建物、あるいはそれ以前の建築でも既に耐震改修を行っている建物
- ② 原則として鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建物
※ ただし、津波浸水想定、地域の状況等によっては鉄骨造他の建物も認めることができる。
- ③ 3階以上の建物で、3階の屋上あるいは4階以上の高さの避難スペースがある建物
※ ただし、津波避難可能区域の外にある区域等、特別な事情がある場合は、津波浸水深から3m以上の高さに避難場所が確保できる建物についても対象とすることができる。
- ④ 365日24時間、避難が可能である建物
- ⑤ 津波に対して一定の安全性が確認できた建物

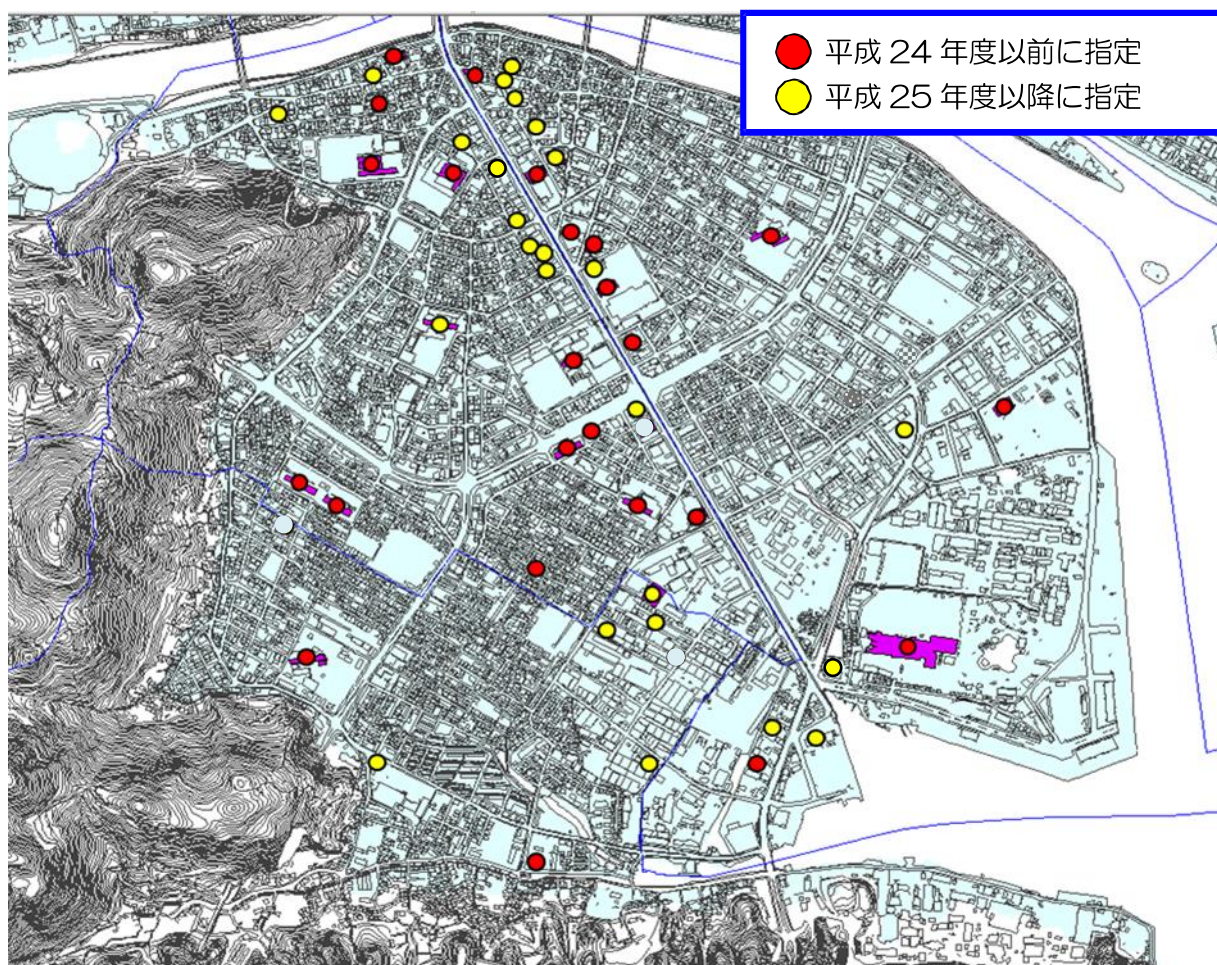


図 28 潮江地区の津波避難ビル指定状況（令和 7 年 2 月現在）

高知市では地域防災推進課のホームページで津波避難ビルの個票を公開しています。個票には施設の概要や施設側からの注意事項、津波避難ビルへの進入方法や避難する場所などの情報が記載されています。日頃から、近隣の津波避難ビルの情報を確認しておきましょう。

高知市津波避難ビル No. 潮江南1

潮江南小学校

施設の概要	
所在地	高知市高見町248-1
施設種類	学校
大 街	潮江
小学校区	潮江南 小学校区
避難場所	北倉4階および屋上、南倉屋上 (コンピュータ室を除く)
構造、階層	鉄筋コンクリート造 4階建
収容可能人数	北倉4階: 565人 北倉屋上: 783人 南倉屋上: 351人 合計: 1,699人
避難所要時間の短い合わせ先	088-832-0123

設置している資機材	
設置場所	北倉屋上西倉庫
ポート	1 トイレ用理剤 203
救命靴	4 アルミシート 1,348
ヘルメット	4
ロープ	1 救助サイン用資機材 1
簡易トイレ	41 飲料水 337
テント	41

南海トラフ巨大地震で想定される揺れと津波
高度 7 津波浸水予測: 2~3m
津波到達予測時刻: 40~60分

津波避難ビルへの進入方法、避難する場所など

高知市津波避難ビル No. 潮江南1

津波避難ビルへの進入方法、避難する場所など

1階

北倉 1階

北倉 4階

北倉 屋上

南倉 屋上

南倉 3階 蹴破り扉

避難場所

階段など上階階へのルート

敷地・建物へのルート

資機材保管場所

図 29 津波避難ビル個票の一例（潮江南小学校）

【津波避難ビル一覧】

高知市 HP : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/tunamihinannbiru.html>

「津波避難ビル」指定事業にご協力ください

東日本大震災では、津波によって、標高の低い地域を中心に甚大な被害を受け、一部の地域では地盤沈降に伴う浸水によって、一時的に孤立した場所が発生しました。高知市中心部にも、標高が低いことに加えて、自然の高台が遠いことから避難が困難で、地盤沈降に伴う浸水によって孤立化する危険性のある地域が存在します。

こうした地域におられる方々の命を守るためには、丈夫で高層な建物の所有者の皆様には、周辺住民の一時的な避難についてご協力をお願いいたたく存じます。

また、地盤沈降の状況によっては、しばらくの間浸水が解消しない事も考えられることから、こうした状況になった場合を想定した資機材の提供も行いますので、ご検討のほど宜しくお願いいたします。



甚大な津波被害があった南三陸町で
町民の命を守った住宅



津波浸水後、地盤沈降により周辺が浸水
した石巻市内の住宅

《津波避難ビル指定後の支援》

- ①: 簡易トイレを支給します(簡易トイレ本体, パーソナルテント, 処理剤)
※低層階にお住まいの方で被災された方や周辺住民で避難されて来られた方が建物を汚すことなく用を足せる環境をつくります。また、断水等でトイレが使用できない場合、上層階にお住まいの方もご活用頂くことができます。
- ②: 強化ゴムボートを支給します(ゴムボート, 救命胴衣, ヘルメット, ロープ)
※ 浸水後水が引かない場合に用いる最低限の移動連絡手段を確保するため、4人乗りゴムボートを配置します。
(ただし、使用の際、絶対の安全を保証するものではありません)
- ③: より早期な救助・救出のため、関係機関に対して事前周知します
※ 津波被災後の救助活動を円滑に行うために、避難ビルとして指定が完了した施設を関係機関に対して周知し、円滑な救助・救出ができるよう体制を整えます。

☆市民に周知する避難場所は、所有者の皆様にご迷惑をおかけしないよう、基本的に廊下やエレベータホール等の共用部分のみといたします。

津波避難ビル表示看板

- 材質等
 - ・ 面板 アルミ複合板3ミリ厚
 - ・ 長期間反射シート
 - ・ シルクスクリーン印刷によるシンボルマーク及び文字の表示

- 看板サイズ

大: 横800mm, 縦600mm

小: 横400mm, 縦600mm



参考画像(下地白, 左上のイメージのみ緑色, 文字は全て黒)

(3) 緊急避難場所一覧

各自主防災組織ごとに選択肢として想定している緊急避難場所は表7のとおりです。

この表は、平成25年度に行った検討会等で確認した、避難の意向等を取りまとめたものです。避難先が重複した箇所では、避難者の集中による混雑が生じるおそれがあります。

今後は、避難先を共有する自主防災組織で合同の訓練を行うなど、課題解決に向けた取組を継続する必要があります。

潮江南小学校区の緊急避難場所一覧は、巻末に添付します。

表7 潮江南小学校区の選択肢として想定している緊急避難場所一覧（平成25年度時点）

自主防災組織名	避難先	人口合計 (人)	世帯数 (世帯)	幼年人口 (人) (15歳未満)	老年人口 (人) (65歳以上)	高齢者率 (%)
高見地区防災会	・潮江南 1~10 ・潮江南小学校	1209	568	196	287	23.7
北竹島町第六町内防災会	・潮江南 1~10 ・北竹島町市営住宅 1号棟、2号棟 ・潮江南小学校	424	210	43	121	28.5
北竹島町第五町内防災会	・(株)吉永室内工芸ビル (※1)	458	227	53	148	32.3
竹島町西北防災会		719	365	89	211	29.3
竹島町東防災会	・潮江南 7~10 ・潮江南小学校	634	349	58	183	28.9
竹島町南防災会		613	303	66	199	32.5
六泉寺団地防災会	・潮江南 13~18	642	381	30	314	48.9
六泉寺町防災会	・潮江南 10、13~19 ・潮江南小学校 ・国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所	956	449	135	190	19.9
南竹島町防災会	・潮江南 18~20 ・国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所 ・ミニパック株式会社 高知潮江工場(※2)	904	463	127	217	24.0
孕西・深谷・南中山防災会	・潮江南 13~18	752	355	81	229	30.5
孕西町中町自主防災会	・潮江南 18、19	127	56	19	31	24.4
西孕東町防災会	・潮江南 20~23	141	61	20	38	27.0
その他(六泉寺)	・潮江南 16~18 ・国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所	35	25	2	12	34.3
小学校区の高齢者率→						29.6

(※1) 現在は津波避難ビル指定解除済み。

(※2) 現在は「新高産業社屋」。(令和7年2月現在)

第3節 避難困難地域の検討

津波が到達するまでに避難が困難となるおそれがある地区を把握することを目的に、図30に示す検討図を作成しました。この結果、令和7年2月現在の津波避難ビルを考慮した場合は、潮江東小学校区の一部に避難困難となるおそれがある地域が見られます。潮江地区全体の津波避難ビルは平成26年度以降7箇所が新規指定され、50箇所となっています（令和7年2月現在）が、当該地域においては令和7年2月現在においても津波避難ビルの指定がなく、避難困難地域が解消されていません。地域内には津波避難ビルの要件を満たすビルが存在するため、今後も指定に向けての取組を重点的に進める必要があります。

また、この図は以下の条件を仮定して、机上で検討した結果であるため、図上では避難可能であっても油断することなく、訓練等を継続しましょう。

■設定条件等

- 夜間の人口分布を基に検討したものです。
- 高台まで避難可能な距離の目安として浸水想定区域の末端から直線距離500mのライン（点線）を表示しています。
- 津波避難ビルへの避難可能距離は、階段の昇り時間等を考慮し360mを目安としています。
- 避難可能距離は、歩行速度を0.6m/秒と仮定しています。これは、成人男性が通常歩く速度の約半分程度の速度です。
- 高台の緊急避難場所は、収容人数を設定していません。
- 津波避難ビルは、避難場所1㎡あたり1人として収容人数を設定しています。
- 昼間の場合は、学校等に生徒が避難することや、人口分布が大きく異なるため、今後検討が必要です。

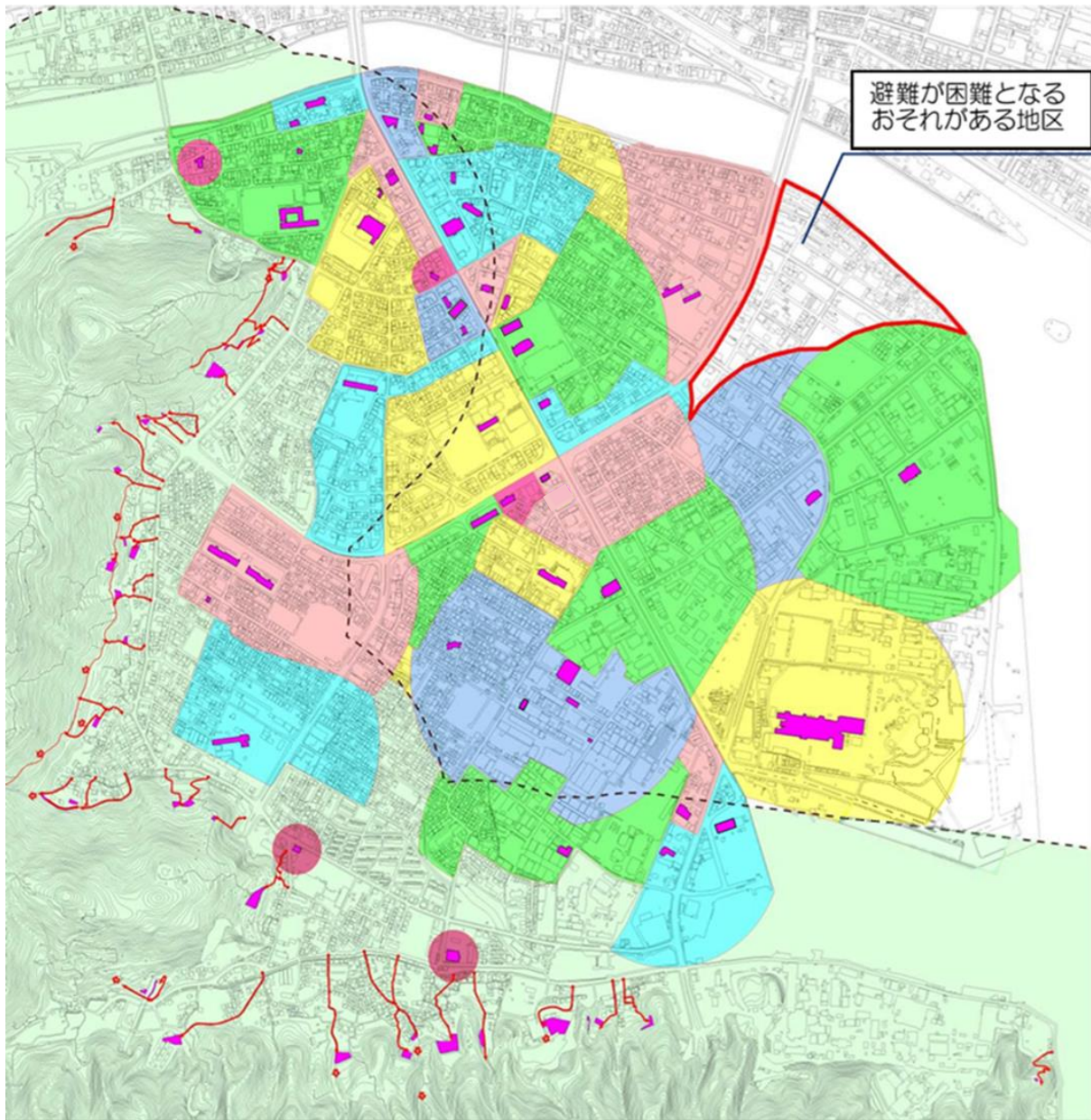


図 30 避難困難地域の検討図（令和7年2月現在の指定津波避難ビルを考慮した場合）

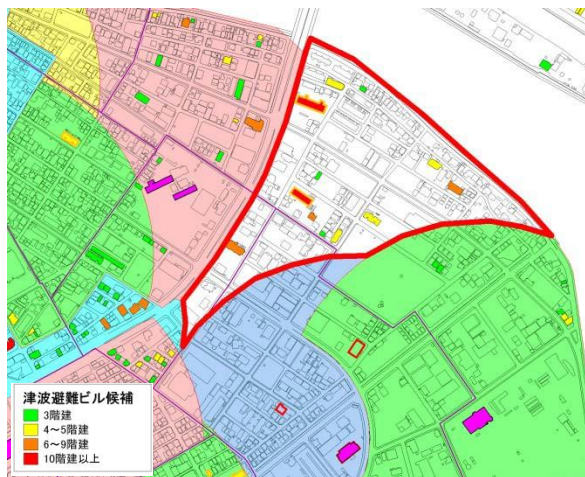


図 31 候補ビルの状況

第4節 津波避難経路

地区内の人家から緊急避難場所に至る全ての経路を津波避難経路とします。そのなかで、避難行動が集中する主要な津波避難経路として以下のような経路を選定し、津波避難行動支援マップに記載します。主要な津波避難経路において、道路が閉塞するなど避難行動に影響を及ぼす課題は、解決に向けて重点的に取組みます。

【主要な津波避難経路の選定】

- 緊急避難場所への最短経路
- 津波遡上方向へ向かわない
- 道路幅員6m以上（目安）の広い道路
- 閉塞等のリスクが少ない経路

主要な津波避難経路に至る地区内の経路については、避難方向を矢印で図示し、避難方向がわかりやすいよう工夫します。

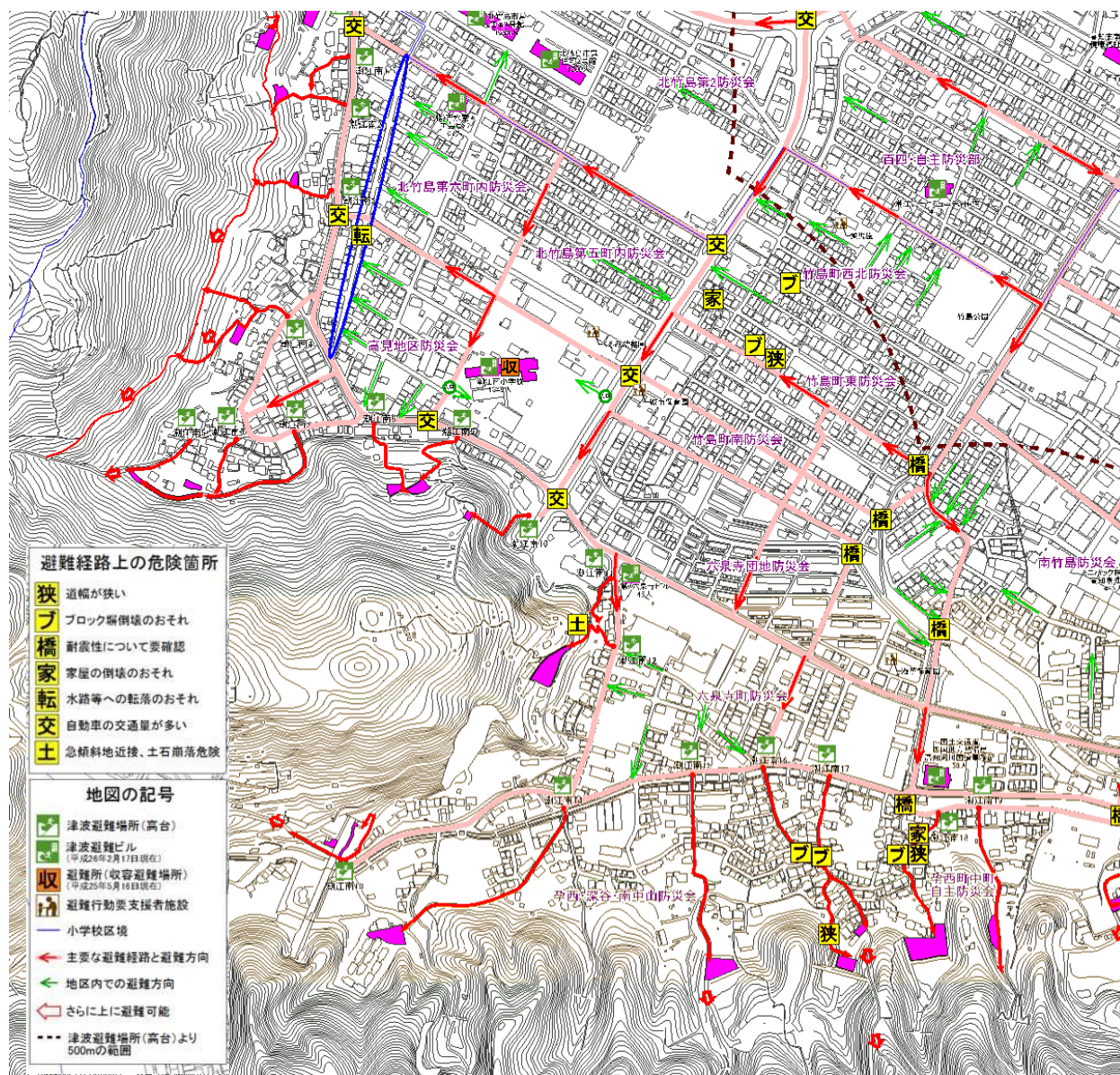


図 32 主要な津波避難経路の選定

第6章 津波避難計画の検証

第1節 津波避難計画検証の流れ

潮江南小学校区では、平成25年度の津波避難計画策定後も、草刈りなどの津波避難路整備や避難訓練等を行ってきました。これらの取組を踏まえて、令和2年度に、潮江南地区防災計画の策定に合わせ、津波避難計画の検証を行いました。検証の流れは、以下のとおりです。

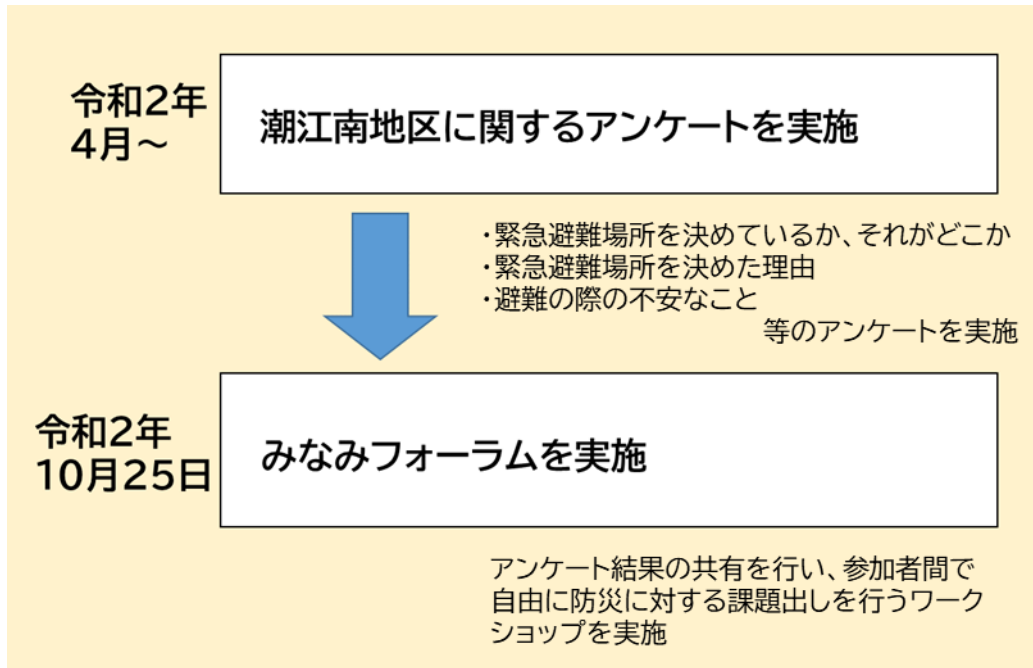


図33 令和2年度 潮江南小学校区津波避難計画検証の流れ

第2節 令和2年4月 潮江南地区アンケートの実施

令和2年4月に、潮江南地区防災計画及び地域コミュニティ計画策定の前段階として、広く住民の意見、現状や課題などを発見する目的で、潮江南地区住民から無作為抽出した1,300名と、潮江南小学校にもご協力いただき、保護者の皆さんにもアンケートを配布しました。アンケートは、合計446名の方から回答をいただきました。



アンケートでは、地域コミュニティに関する質問のほか、防災に関する質問として、事前の準備や津波避難に関すること、避難後の生活についての質問など、全29項目について調査を行いました。

この章では、津波避難に関する部分を抜粋し、アンケート結果とそこから見えてくる課題について記述します。各質問の結果は、以下のとおりです。

アンケートの回答者の年齢層について、40代の方と70代以上の方の回答がそれぞれ120以上集まりました。その他の年代についても一定数以上の回答があり、幅広い年代の方からの回答を集めることができました（図34参照）。

また、アンケート回答者を住んでいる町別に集計した結果は、図35のとおりです。

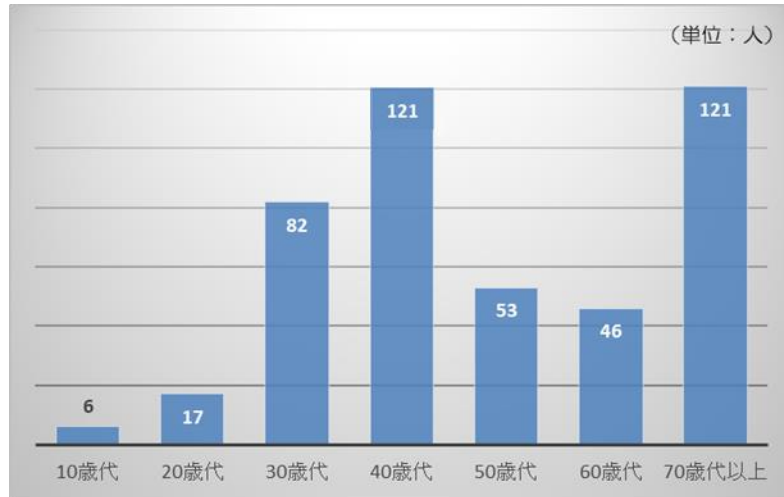


図34 アンケート回答者の年齢層について

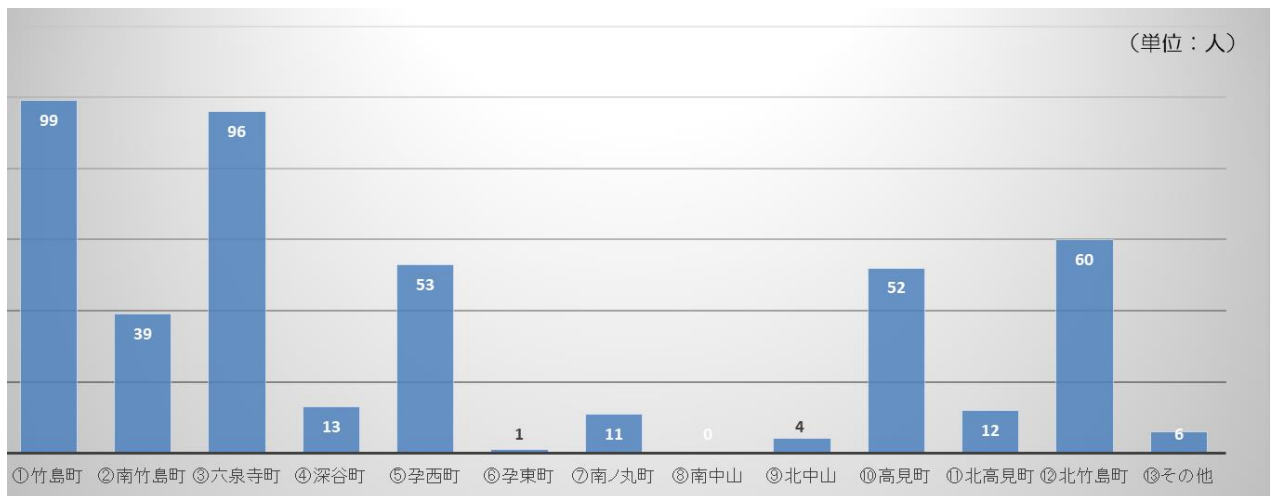


図35 アンケート回答者の住んでいる地区（町別）について

第3節 アンケート結果：緊急避難場所について

津波から逃げる場所（緊急避難場所）を事前に決めているかについては、「決めている」という回答が311回答と全体の70%を占めていました。

対して、「決めていない」「わからない」が順に102回答、23回答と、全体で28%の方が避難するための場所を考えていないという結果でした（図36参照）。

また、緊急避難場所としてどこを考えているかという質問では、「潮江南小学校」と回答した方が最も多く、続いて「自然地形の高台」「近隣の津波避難ビル」の順でした（表8参照）。

緊急避難場所を選んだ理由については、「自宅との距離が近いから」が262回答と最も多く、続いて多かった理由は「避難所も兼ねた緊急避難場所だから」との回答で、89回答ありました（表8参照）。

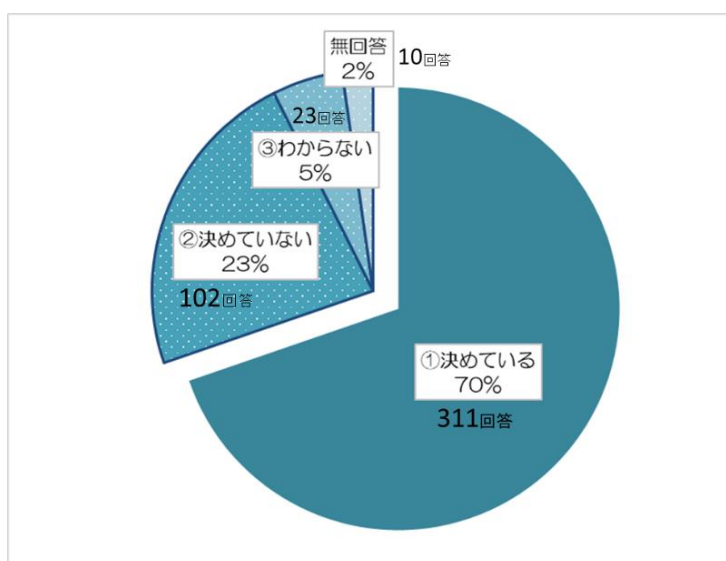


図36 『津波から逃げるための場所（緊急避難場所）を決めていますか？』に対する回答割合

表8 事前に決めている緊急避難場所及びその場所を選んだ理由

決めている緊急避難場所を選択してください(複数選択可)。		どうしてその場所を選びましたか？ (複数回答可)	
①潮江南小学校	172	①自宅との距離が近いから	262
②近隣の津波避難ビル	69	②津波避難誘導標識を見たから	20
③自然地形の高台	147	③避難所も兼ねた緊急避難場所だから	89
④その他	18	④近くににげられそうな場所がないから	39
		⑤防災マップで確認をしたから	19
		⑥地域で取り決めているから	27
		⑦その他	20

事前に決めている緊急避難場所について、町別に分類したものが表9です。表9では、各町で回答割合の高かったものを赤字で記載しています。

全体的な避難傾向として、北側の町は『潮江南小学校』，南側の町は『河川国道事務所』や『自然の高台』への避難を考えているという回答が多い傾向にありました。対して、回答数が0の津波避難ビルも4つあり、緊急避難場所の偏りが見られます。また、南ノ丸町では、自宅へ避難するとの回答が多くありました。

表9 事前に決めている緊急避難場所（町別）

	全回答	校区内津波避難ビル ※1						校区外津波避難ビル			自宅
		潮江南小	河川国道	六泉寺ビル	マルハ	バルビー-8	北竹島市営	アスパル	潮江中	自宅	
①竹島町	99	57 57.6%	2 2.0%	0	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	0	1 1.0%	
②南竹島町	39	10 25.6%	1 2.6%	0	1 2.6%	0	0	0	0	2 5.1%	
③六泉寺町	96	33 34.4%	7 7.3%	2 2.1%	0	0	0	0	0	3 3.1%	
④深谷町	13	2 15.4%	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤孕西町	53	4 7.5%	2 3.8%	1 1.9%	0	0	0	0	0	1 1.9%	
⑥孕東町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑦南ノ丸町	11	1 9.1%	0	0	2 18.2%	1 9.1%	0	0	0	5 45.5%	
⑧南中山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑨北中山	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑩高見町	52	24 46.2%	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑪北高見町	12	5 41.7%	0	0	0	0	0	0	0	2 16.7%	
⑫北竹島町	60	34 56.7%	0	0	0	0	5 8.3%	0	1 1.7%	1 1.7%	
⑬その他	6	2 33.3%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	446	172 38.6%	12 2.7%	3 0.7%	4 0.9%	2 0.4%	6 1.3%	1 0.2%	1 0.2%	15 3.4%	

	全回答	避難場所が不明		竹島公園 いのち山		自然地形の高台 ※3		きめていない わからない (無回答)	
		詳細不明	指定外ビル ※2						
①竹島町	99	7 7.1%	2 2.0%	2 2.0%	13 13.1%	23 23.2%			
②南竹島町	39	7 17.9%	1 2.6%	1 2.6%	9 23.1%	18 46.2%			
③六泉寺町	96	8 8.3%	0	0	31 32.3%	27 28.1%			
④深谷町	13	0	0	0	7 53.8%	5 38.5%			
⑤孕西町	53	2 3.8%	1 1.9%	0	30 56.6%	14 26.4%			
⑥孕東町	1	1 100%	0	0	1 100%	0 0.0%			
⑦南ノ丸町	11	0	0	1 9.1%	1 9.1%	4 36.4%			
⑧南中山	0	0	0	0	0	0			
⑨北中山	4	0	0	0	2 50.0%	2 50.0%			
⑩高見町	52	1 1.9%	0	0	14 26.9%	13 25.0%			
⑪北高見町	12	0	0	0	6 50.0%	2 16.7%			
⑫北竹島町	60	7 11.7%	0	0	21 35.0%	11 18.3%			
⑬その他	6	2 33.3%	0	0	2 33.3%	2 33.3%			
	446	35 7.8%	4 0.9%	4 0.9%	137 30.7%	121 27.1%			

※1 校区内の津波避難ビルのうち、『鶴吉永室内工芸ビル』『新高産業社屋』『高知県トラック会館』『鶴戸口商会』については、回答がなかったため省略しています。

※2 指定外ビルの回答内訳・うしおエメティカルビル（1）・六泉寺マンション（1）・マルハンの隣のビル（1）・アルファステイツ棧橋通Ⅳ（1）

※3 自然地形の高台の回答は、『筆山』『高見山（血ヶ峰）』『鷲尾山』『宇津野山』等の回答の集計です。

事前に決めている緊急避難場所及びその理由について、気になる回答を抜粋したものが、表 10 です。

① より近い緊急避難場所がある回答

回答の中で、住んでいる町内会などから推測し、より近い緊急避難場所がある可能性がある回答が合計 21 ありました。

緊急避難場所を選んだ理由として、「自宅との距離が近いから」「近くに逃げられる場所がないから」等の理由を挙げた回答が多くありました。住んでいる場所や回答者の身体状況などによりますが、より早く避難できる緊急避難場所があることが想定されます。また、潮江南小学校を選択した方の中には「避難所も兼ねているから」との理由を挙げている方もいました。

② 避難所と緊急避難場所を混同している可能性がある回答

回答の中で、緊急避難場所を選んだ理由として「避難所も兼ねているから」を選択しているものの、選んだ緊急避難場所が避難所指定を受けていない建物であった回答が 2 ありました。

これらの回答については、津波からの一時的な避難のための「緊急避難場所」と、避難後の生活をするための「避難所」を混同している可能性が考えられます。

③ 緊急避難場所の指定を受けていない建物への避難を予定している回答

回答の中で、緊急避難場所としての指定を受けていない建物への避難を予定しているとの回答が 4 つありました。うち 2 つは状況により他の緊急避難場所を選択する（複数回答）との回答でした。また残り 2 つの回答のうち 1 つは「家族の自宅だから」との理由で避難を予定しており、円滑な避難が可能であると考えられます。

残り 1 つの回答については、「地域で取り決めているから」との理由で選択しており、指定はされていないものの、地域の緊急避難場所として町内の自主防災組織との協力関係にある施設が挙げられています。

表 10 『緊急避難場所を選んだ理由』について 気になる回答（一部抜粋）

	住居 → 行先	理由	考えられる可能性
①	南竹島町 → 潮江南小学校 70・50代:1人 40代:4人 30代2人 10代2人	・自宅との距離が近いから ・避難所も兼ねているから ・近くに逃げられる場所がない	・より近い避難場所がある可能性がある ・「避難所である」という理由で距離のある避難場所を選んでいる
	北高見町 → 潮江南小学校 70代:2人 40代:3人	・自宅との距離が近いから ・近くに逃げられる場所がない	・より近い避難場所がある可能性がある(山など)
	孕西町・深谷町 → 潮江南小学校 70代:1人 40代:2人 30代:2人	・自宅との距離が近いから	・より近い避難場所がある可能性がある(山など)
②	竹島町 → 北竹島市営 60代:1人	・近くに逃げられる場所がない	・より近い避難場所がある可能性がある
	北竹島町 → 潮江中学校 50代:1人	・防災マップで確認したから	・より近い避難場所がある可能性がある
③	南ノ丸・竹島町 → 河川国道事務所 60代:1人 40代:1人	・避難所も兼ねているから	・より近い避難場所がある可能性がある ・避難所の指定はされていないビル
④	北竹島町 → 潮江デジタルビル 30代:1人	・避難所も兼ねているから ・近くに逃げられる場所がない ・地域で取り決めているから	・より近い避難場所がある可能性がある ・津波避難ビル及び避難所指定がされていない建物を挙げている

第4節 アンケート結果：避難の際不安に感じることにについて

自宅から緊急避難場所に向かうまでの間に不安を感じることがありますか、という質問に対しては、全体の約7割（327回答）の方が「ある」との回答をしました（表11参照）。どのようなことに不安を感じるかについて、まとめたものが図37です。

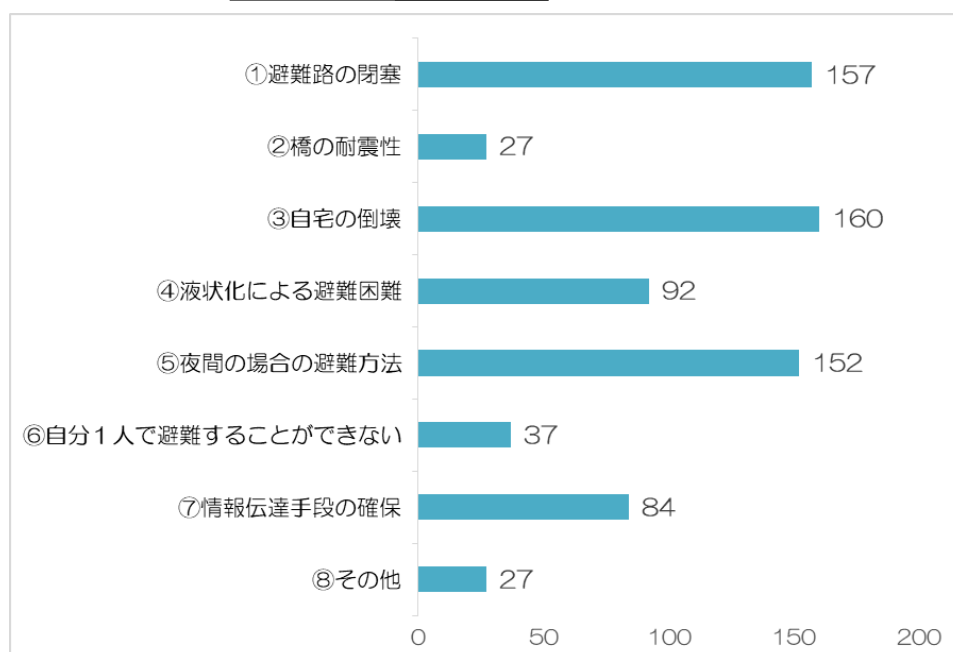
『避難路の閉塞』『自宅の倒壊』『夜間の場合の避難方法』を課題として挙げている回答については100以上と多い傾向にありました。

また、少数の回答の中でも、『自分1人で避難することができない』との回答が37あり、自力での避難が困難であると考えている方が一定数いることがわかりました。

その他の回答傾向として、家族の中に避難が不安な高齢者や子ども、ペット、その他手助けの必要な家族がいることを心配する声が多くみられました。それ以外にも『避難場所が遠い』『体力や体調に不安がある』など、自分の身体状況や周辺状況を不安に思う回答がいくつか見られました。

表11 避難の際不安に感じるかどうかについての回答数

自宅から津波から逃げるための場所に避難するまでに不安を感じること はありますか？		
①ある	327	73%
②ない	91	21%
無回答	28	6%
	446	



回答
その他の

- ・ペットがいる（4）
- ・高齢者がいる（4）
- ・体力や体調に不安がある（4）
- ・道路の状況（4）
- ・避難者が多い（1）
- ・子どもが小さい（2）
- ・手助けが必要な家族がいる（3）
- ・避難場所が遠い（3）
- ・状況が分からないため（2）
- ・橋を渡る最中に津波が来ないか（1）

図37 避難の際不安に感じること（複数回答可）

第5節 みなみフォーラム・ワークショップの実施

令和2年10月25日に潮江南小学校で、より多くの意見の収集や今後の地域コミュニティ計画・地区防災計画策定会議への参加者を増やすことを目的に、子育て世代の方を中心に地域フォーラムを実施しました。

このフォーラムでは潮江南地区が取り組む『安心して子育てできるまち』『自然にやさしく強いまち』『つながりの強いまち』『高齢者・障がい者も安心して住めるまち』『安全に守られているまち』『防災に強いまち』の6つの柱をテーマにし、それぞれの班で自由に課題や解決策など、意見出しのワークショップを行いました。

次頁以降の表12及び表13は、そのうち『防災に強いまち』をテーマに話し合った際、アンケート結果の内容を参考にしつつ、皆さんから出た意見をまとめたものです。



図38 令和2年10月25日みなみフォーラムの様子

表 12 令和2年 10月 25日みなみフォーラム『防災に強いまち』意見まとめ①

ここが危ない・避難経路 ここが不安	<input type="radio"/> 他地区へ行くルートが橋しかない。これが壊れると危ない。
	<input type="radio"/> 危ない場所: ブロック塀・古いアパート・トンネル出口・橋・道の溝…
	<input type="radio"/> ブロック塀がたくさんあるのが気になる。車の通行にも影響する。個人の家にはなかなか言えない
	<input type="radio"/> 大人の高さでは気づかない 子供の目線での危ない箇所チェック
	<input type="radio"/> 避難場所の表示・危ないところもある
	<input type="radio"/> 道が狭くすぐ横が用水路が多い ⇒ フェンスの設置・道を広げてほしい
	<input type="radio"/> 消防車が通れないような細い道がある(竹島)
	<input type="radio"/> 緊急時の大通り確保
	<input type="radio"/> 真っ暗になっても道が分かる工夫
	<input type="radio"/> 橋が怖いところがある
避難経路・避難場所を 知っておく	<input type="radio"/> 避難道であることをみんなに理解してもらう。
	<input type="radio"/> 山への避難路があるが、広報は十分か？
	<input type="radio"/> 看板で避難路を周知してほしい
	<input type="radio"/> 津波避難場所の確認・知っておこう
	<input type="radio"/> 防災マップ いろんなところに貼るのはどうか
避難場所を増やす	<input type="radio"/> メディカルビル・イアを津波避難ビルに指定してほしい
	<input type="radio"/> 避難ビル指定を増やして、避難場所の選択肢が増えるようにしたい。
より良い場所を 避難場所にする	<input type="radio"/> 避難路の上にも(避難路の先にも)倉庫があれば備えができる
	<input type="radio"/> 老人は防災品をもって避難ができないので事前に避難場所に置かせてほしい。
	<input type="radio"/> 命山の大きさをヘリが停まれるくらい大きくできないか。
	<input type="radio"/> 屋上にも課題があることを知った。
連絡手段や 通信手段	<input type="radio"/> 連絡手段を考える 火起こし等
	<input type="radio"/> 非常時に通信手段が確保できる
	<input type="radio"/> ドローンが欲しい(各公民館・拠点に) 安全確認できるように
	<input type="radio"/> 放送 … いざというときに備えて大事

表 13 令和2年 10月 25日みなみフォーラム『防災に強いまち』意見まとめ②

より良い 防災訓練の 実施	<input type="checkbox"/> 学校では定期的に訓練を行っている。
	<input type="checkbox"/> 避難所開設訓練は昨年度実施(学校-地域)
	<input type="checkbox"/> 防災訓練のチラシが来たことないかもしれない(町内会)
	<input type="checkbox"/> 『急にやる』避難訓練 ⇒ 実践的で効果的ではないか
	<input type="checkbox"/> 楽しみながら防災訓練をする
	<input type="checkbox"/> 防災訓練を家でも地域でも職場でも実施するのが大事
	<input type="checkbox"/> 学校と家庭の防災イベント
	<input type="checkbox"/> テントの立て方+流しそうめんの防災イベント有
	<input type="checkbox"/> 訓練などに参加してお土産があると嬉しい、参加率が増える
	<input type="checkbox"/> 町内会 月一訓練
	<input type="checkbox"/> 合同訓練 9月1日は避けてほしい ⇒ 熱中症
	<input type="checkbox"/> 防災倉庫はあるけど、使い方とかはみんな知っているのか
知ハ つげ てし おド くを	<input type="checkbox"/> 長期浸水の不安(水が引くのはいつになるのか)
	<input type="checkbox"/> 津波の方向・深さが分からない
	<input type="checkbox"/> 長期浸水地区であることを知っておく
事前の 備えの 必要性	<input type="checkbox"/> 準備をしておくことが大切
	<input type="checkbox"/> 防災食の準備が大事
	<input type="checkbox"/> 避難準備 ⇒ 避難リュックを構える
	<input type="checkbox"/> 家の中に極力物を置かない
	<input type="checkbox"/> 家具の固定

第6節 地区防災計画の検討について

潮江南地区では、津波避難に関する課題だけでなく、事前の備えや避難所生活に関する課題について、アンケート結果やみなみフォーラムで出た意見を踏まえ、解決策や地域全体で今後取り組んでいくべき活動の検討を行いました。

そして、これを潮江南地区全体での防災活動の指針としてとりまとめ、令和4年度に『潮江南地区防災計画』を策定しました。



図 39 『潮江南地区防災計画』

潮江南地区防災計画は高知市地域防災推進課のホームページからも確認することができます。

【地区防災計画】

高知市 HP : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/tikubousaieikaku.html>

第7章 潮江南小学校区の津波避難における課題と取組

第1節 避難行動の課題

今回の計画における前提条件（津波浸水予測時間、避難開始時間、避難速度等）では、小学校区内で避難困難となる地域はありませんが、地域特性等をふまえれば、揺れによる被災状況等によって逃げ遅れるおそれがあり、決して油断できません。

平成25年度の計画策定では、ワークショップや現地検討等を通じて、緊急避難場所や主要な避難経路の課題について主に検討しました。また、令和2年度の津波避難計画の検証では、アンケートやワークショップを通じて、津波避難に関する課題について検討を行いました。

津波が到達するまでに安全な場所へ避難し、津波警報が解除されるまでの安全を確保するためには、以下のような課題があることがわかりました。

1 緊急避難場所の課題

- ① 小学校区を越えた避難行動の可能性があり、避難者の集中によって、入口での渋滞などの混乱が生じるおそれがある。
- ② 高台の緊急避難場所の避難環境（風雨、トイレ対策）が不十分である。津波避難ビルについても、資機材（簡易トイレ、ゴムボート等）の置き場がない場合がある。
- ③ 津波避難ビルの指定にあたって、外付け階段の施錠など常時の管理の問題等により、交渉が保留となっている箇所がある。
- ④ 学校の児童・生徒、病院、事業所の従業員等の緊急避難場所が把握できていない。
- ⑤ 潮江南小学校は子供や高齢者等の優先避難場所とすること（高見町防災会）としており、今後周知を図る必要がある。
- ⑥ 緊急避難場所について事前に決めていない人が一定数おり、災害時の避難に支障をきたす可能性がある。
- ⑦ 避難場所と避難所を混同している人や、緊急避難場所の指定を受けていない建物への避難を考えている人、より近い緊急避難場所への避難を考えていない人が一定数おり、緊急避難場所について今後周知を図る必要がある。

2 避難経路の課題

- ① 緊急避難場所の入口や避難方向がわかりにくい。
- ② 潮江南7については、車での避難を制限することを周知する必要がある。
- ③ 潮江南小学校区は、市内でも液状化の可能性が極めて高い地域であり、道路の凹凸や段差等により避難速度が低下することが想定される。
- ④ 夜間の避難対策がなされていない。
- ⑤ 主要な避難経路に多数の橋梁があり、それらの耐震性が明らかでない。
- ⑥ 水際の河川・港湾施設等の耐震性が不明である。
- ⑦ 交通量の多い道路を横断する経路は、信号が停止することにより横断に時間を要するおそれがある。
- ⑧ 建物に近接して避難する場合に、ガラス等の落下物に注意を要する。
- ⑨ 主要な避難経路に至る地区内の狭い道路でのブロック塀、建物倒壊による閉塞のおそれがある。
- ⑩ 建物の倒壊を不安に感じる人が一定数おり、住宅の耐震化を周知する必要がある。

3 その他の課題

- ① 防災訓練等を企画できる率先避難者が少ない。
- ② 要配慮者（避難行動要支援者）の避難対策が検討できていない地区が多い。
- ③ 津波警報等の情報伝達
- ④ 津波避難ビル等に孤立した場合の連絡方法
- ⑤ 夜間の場合の避難方法

第2節 課題の解決に向けた取組

今後は、対策の方向性や、具体的な取組について検討を継続し、課題の解決に取り組めます。

1 自助・共助を主体とした取組

地区内の住民、各自主防災組織、潮江南防災連合会が主体となって以下のような取組を行い、地域の安全度を高めます。

① 避難開始時間の短縮や避難速度の向上

- 学習会、防災士の資格取得等を通じた避難意識の向上
- 防災啓発冊子（「南海トラフ地震に備えちょき」令和2年12月改訂版）等を活用
- 避難訓練の実施

「地域津波避難計画点検マニュアル（高知県平成25年12月）第3章 実践的な避難訓練の実施」を活用

② 中学校区における情報の共有

潮江地区では、小学校区の範囲を超えた避難行動が想定されています。今後は各小学校区の津波避難計画について情報の共有を図ります。

③ 学校との連携

この計画書を基に、地域の学校（潮江南小学校、潮江中学校）との連携を図り、具体的な活動内容について検討します。生徒や保護者との活動を通じて、地域の率先避難者となる人材の育成を図ります。

④ 潮江南小学校区の特徴的な取組の継続と発展

➤ 防災講演会

潮江南小学校区の防災イベントとして定着しています。防災情報を発信・共有し、地域全体の防災意識を高める貴重な機会として、無理なく継続できる役割分担や、実施内容などについて検討していきます。

2 公助を主体とした取組

自助・共助の取組に対するサポートや、公共事業による整備等において、地域の実情や要望事項等が反映されるよう、積極的に参画します。

- ① 津波避難行動支援マップの作成・配布
- ② 自主防災組織の結成促進
- ③ 多様な組織（学校、病院、事業所等）との連携をサポート
- ④ ソーラー誘導灯の設置
- ⑤ 津波避難ビルの指定
- ⑥ 避難路・緊急避難場所、防災倉庫等の整備
- ⑦ 橋梁・堤防等の耐震対策
- ⑧ 液状化対策
- ⑨ 避難看板・誘導灯の整備
- ⑩ ブロック塀の改修等の補助事業
- ⑪ 津波警報や南海トラフ地震臨時情報等の情報伝達
※ 南海トラフ地震臨時情報については、第9章及び巻末資料をご参照ください。
- ⑫ 孤立した場合の連絡方法の検討

自主防災活動事例集（高知県 平成 29 年 3 月）

高知県内を中心に、特色ある活動や、熱心な取組を継続している自主防災組織の活動事例等を紹介しています。今後の自主防災活動の参考にご活用ください。

高知県 HP : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/jisyubo-jirei.html>

潮江南小学校区の概況写真

<p>潮江南7 入口</p>  <p>車での避難を制限</p>	<p>潮江南4 入口</p>  <p>ブロック塀倒壊の危険</p>
<p>土佐高校グラウンド前</p>  <p>道路横断に危険を伴い時間を要する</p>	<p>竹島第2排水所周辺</p>  <p>橋梁の耐震対策</p>
<p>孕西町</p>  <p>橋梁の耐震対策</p>	<p>竹島町</p>  <p>狭隘な道路（3m程度）</p>

第8章 検討経緯

【年度毎の事業概要】

～平成 23 年度	高台への避難路の選定
平成 24 年度	選定した避難路の整備方針を検討（概略設定）
平成 25 年度	避難路の実施設計・工事 津波避難ビル指定の取組 地区別津波避難計画の策定
平成 26 年度	津波避難マップの作成 地区別津波避難計画の運用（津波避難路工事）
平成 27 年度	地区別津波避難計画 データ更新
令和 2 年度	地区別津波避難計画の検証 ・潮江南地区に関するアンケートの実施 ・みなみフォーラムの実施

【平成 24 年度の取組】 津波避難路整備に係る検討

**潮江南小学校区
津波避難計画策定
の流れ**

～平成 23 年度
自主防災組織や町内会などの
検討により、高台への避難路を
選定しました

平成 24 年度（8月から12月まで）
（津波避難施設計画検討業務）
選定した避難路の整備方針を検討し
工事のための準備をしています



9月23日 高尾



【概略設計】
事業の基礎となる図面を
作成し、工事費を算出します

9月9日 幸西町東・幸西町中
9月16日 幸西町西・福台・六島寺
【現地検討会】

平成 25 年度
実施設計・避難路整備工事



地権者の方に了解をいただいた後
測量・設計・工事を行います

平成 26 年度
地区別津波避難計画マップ完成



避難路・避難ビルなどを広く知って
いただくためのマップを作成します

地域の皆様のご理解とご協力が不可欠です

高知市 防災対策部/地域防災推進課

**津波避難路
の整備**

まずは山に逃げる道と場所を確保！

昔からある道を活用し
できるだけ多くの箇所を確保しましょう

避難路の整備ポイント

- 高齢者や子供たちがあがるか
- 雨天や夜間の避難
- 要援護者への配慮
- 維持管理がしやすい



あっちにも
道があるで

現地確認のようす



夜間の避難には誘導灯



勾配の急な山には
すべりにくい階段や手すり



設置可能な場所は
スロープ



津波避難地 兼山 登り口

避難場所を知るための
避難誘導看板

避難路を整備したら…

津波避難計画を策定します
津波被害から命を守るため、地区の住民の一人ひとりが「津波から逃げる」意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な高台などへ迅速に避難することを目的に作成する計画です。



**無事に避難するために
地域の課題を解決しましょう**

- ① 家庭でできることは？
- ② 地域でできることは？
- ③ 市・県などの助けを必要とすることは？

**避難訓練などの防災活動に参加して
地域の課題を共有しましょう**



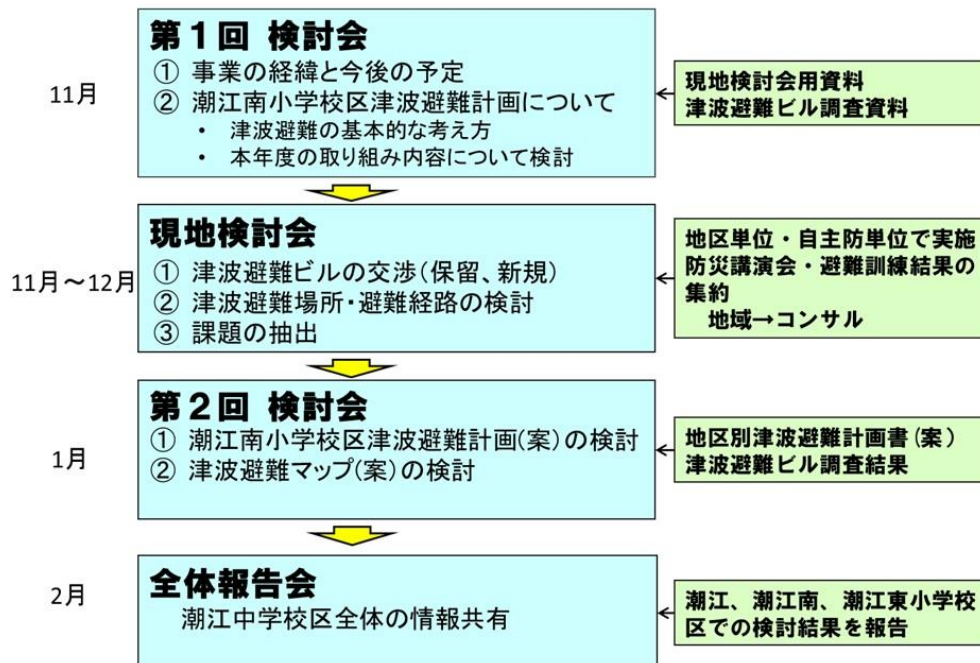
課題解決マップのイメージ

高知市 防災対策部/地域防災推進課

■避難路看板の設置



【平成 25 年度の取組】



【検討会】

名称	開催日	開催場所	参加者数
第1回検討会	平成 25 年 11 月 16 日 (土)	潮江南小学校 家庭科室	15 名
第2回検討会	平成 26 年 1 月 23 日 (木)	〃	26 名

【全体報告会】

名称	開催日	開催場所	参加者数
全体報告会 事前打合せ	平成 26 年 2 月 26 日 (水)	潮江中学校南舎 3F 会議室	11 名 (3小学校区)
全体報告会	平成 26 年 2 月 28 日 (金)	〃	55 名 (3小学校区)

■平成 25 年 11 月 16 日 第1回検討会



■平成 25 年 11 月 24 日 防災訓練・講演会



■平成 26 年 1 月 23 日 第2回検討会



■平成 26 年 2 月 28 日 潮江中学校区全体報告会



【令和2年度の取組】

■令和2年4月 潮江南地区に関するアンケートの実施

The image displays five panels of a survey questionnaire. The first panel is the title page, '潮江南地区に関するアンケート (調査票)', which includes the purpose of the survey and instructions for respondents. The subsequent four panels contain various sections of questions, including demographic information, awareness of local issues, and opinions on community development. The questions are presented in a structured, numbered format.

■令和2年10月25日 みなみフォーラムの実施



第9章 南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合など、南海トラフ地震の発生の可能性が高まった場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。発表時には、発生するおそれのある地震に備え、津波浸水想定区域外の知り合いや親戚宅への自主的な事前避難や日頃の備えの再確認など、住民それぞれの日常生活を考慮した行動が必要です。

南海トラフ地震臨時情報の詳細については、巻末資料をご参照ください。

表 14 南海トラフ地震に関する情報

		発表基準	発表後とるべき行動	市民への情報伝達
南海トラフ地震発生時に発表される情報 (津波に関する警報・注意報)	津波注意報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 1m (20cm<高さ≤1m)	海の中にいる人は、直ちに海から上がって海岸から離れる。津波注意報が解除されるまで、海に入ったり海岸に近づいたりしない。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線 ・緊急速報メール ・広報車 ・ホームページ、SNS等による警報・注意報の伝達・周知
	津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 3m (1m<高さ≤3m)	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない。	
	大津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 5m (3m<高さ≤5m) 10m (5m<高さ≤10m) 10m超 (10m<高さ)		
南海トラフ地震の可能性がある場合 に発表される情報	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	巨大地震の発生に注意が必要な場合	各々の日常生活を考慮し、自主的な事前避難または日頃の備えの確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、ホームページ、SNS等による伝達・周知 ・日頃の備えの再確認を呼びかけ ・自主避難の啓発(※)
	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合		<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、ホームページ、SNS等による伝達・周知 ・事前避難対象地域への避難指示 ・日頃の備えの再確認を呼びかけ ・自主避難の啓発(※)





















※後発地震やそれに伴う津波に備えるために、津波到達時間が短く、地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者、耐震性の不足する住宅の居住者及び斜面崩壊のおそれがある範囲の居住者に対し、親類や知人宅等への避難を基本とした自主避難の啓発を行う。

巻末資料

- ① 潮江地区 緊急避難場所一覧
- ② 臨時情報について
- ③ 潮江南小学校区津波避難行動支援マップ
(平成 27 年度作成)

①潮江地区 緊急避難場所一覽
緊急避難場所（自然地形の高台）一覽



潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（1/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江1			筆山ハイキングコース 様子を伺いながら、必要に応じて頂上方面に避難	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：15.0m			
潮江2			山腹の平坦地	整備済み（平成23年度） 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江3			墓地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：17.3m			
潮江4			墓地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：17.3m			
潮江5			畑地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：12.4m			
潮江6			山腹の平坦地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：30.0m			
潮江7			墓地	
	緊急避難場所の標高：13.5m			

潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（2/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難経路の状況
潮江8			筆山トンネル上の広場 兼山公園にもつながっている	整備済み（平成25年度） 
	緊急避難場所の標高：11.9m			
潮江9			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江10			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江11			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江12			工業用水道施設	整備済み（平成25年度） 
	緊急避難場所の標高：42.9m			
潮江13			宝蔵寺跡	整備済み（平成25年度） 
	緊急避難場所の標高：35.1m			
潮江14			高視朝臣邸跡 塩の道、宝蔵寺跡にもつながっている	整備済み（平成25年度） 
	緊急避難場所の標高：15.0m			

潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（3/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江15			はとがさきハイツの敷地内	
	緊急避難場所の標高：10.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（1/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南1			砂防堰堤前面の広場 避難場所周辺は、谷地 形で出水が著しく、過 去に土砂崩壊が発生し ている	入口に 20cm 程度の段 差があり、注意が必要 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江南2			潮江南1 と共通	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江南3			畑地	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：15.4m			
潮江南4			畑地	整備済み（平成 27 年度） 直線ルートは勾配が急で ある 南西ルートは勾配は緩や かだが、石積みの崩壊な どに注意が必要
	緊急避難場所の標高：12.5m			
潮江南5			市道、畑地 潮江南5～7は共通	車を使った避難が想定さ れるため、事前のルール づくりが必要
	緊急避難場所の標高：26.0m			
潮江南6			市道、畑地 潮江南5～7は共通	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：19.3m			
潮江南7			市道、畑地 潮江南5～7は共通 車を使った避難が想定 されるため、事前のル ールづくりが必要	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：26.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（2/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南 8			畑地 過去に土砂災害の被災履歴があるので、注意が必要	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：25.5m			
潮江南 9			くるみ幼稚園のプール 過去に土砂災害の被災履歴があるので、注意が必要	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：25.4m			
潮江南 10			高知桂浜道路 法面部	
	緊急避難場所の標高：40.0m			
潮江南 11			畑地 潮江南 12 と共通	勾配が急 石積みの崩壊や、坂路のひび割れあり
	緊急避難場所の標高：29.5m			
潮江南 12			畑地 潮江南 11 と共通	勾配が急 石積みの崩壊や、坂路のひび割れあり
	緊急避難場所の標高：29.5m			
潮江南 13			高知桂浜道路	
	緊急避難場所の標高：18.5m			
潮江南 14			ホテル山水	
	緊急避難場所の標高：20.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（3/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南15			畑地	
	緊急避難場所の標高：20.6m			
潮江南16			砂防堰堤前面の広場	ブロック塀倒壊のおそれあり 大山祇神社から幅員が狭くなっている
	緊急避難場所の標高：17.6m			
潮江南17			駐車場 鷺尾山方面へのハイキングコースに続いているので、さらに上へ避難可能	
	緊急避難場所の標高：15.8m			
潮江南18			急傾斜対策施設前面の広場	ブロック塀・古い家屋が多く、倒壊による閉塞のおそれあり
	緊急避難場所の標高：18.1m			
潮江南19			観音寺の駐車場	部分的に、勾配が急な箇所あり
	緊急避難場所の標高：18.2m			
潮江南20			個人宅 さらに上へ舗装路（私道）が続いているので 海拔 20m 以上へ避難可能	車を使った避難が想定されるため、事前のルールづくりが必要
	緊急避難場所の標高：10.6m			
潮江南21			休耕地	
	緊急避難場所の標高：15.5m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（4/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南22			墓地、休耕地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：20.0m			
潮江南23			大海津見神社 境内	整備済み（平成27年度） 
	緊急避難場所の標高：24.0m			

津波避難ビル一覧

高知市では地域防災推進課のホームページで津波避難ビルの個票を公開しています。個票には施設の概要や施設側からの注意事項、津波避難ビルへの進入方法や避難する場所などの情報が記載されています。日頃から、近隣の津波避難ビルの情報を確認しておきましょう。

【津波避難ビル一覧】


高知市 HP :

<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/tunamihinannbiru.html>

潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（1/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 2	ステラ棧橋 	鉄筋コンクリート造 8階建	屋上、3階以上廊下 (居住スペースを除く) (302人)	
潮江東 3	潮江東小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	北舎及び南舎屋上 (921人)	
潮江東 4	高知市青年センター (アスパルこうち) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上 (4階あったか スペースを除く) (1,645人)	
潮江東 5	潮江水再生 センター(管理棟) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	3階会議室(監視 操作室を除く)、 屋上 (830人)	
潮江東 6	(株)四電工高知支店 	鉄骨造 4階建	4階廊下等共用 スペース及び屋上 (331人)	
潮江東 7	シンセイ高知店 (立体駐車場) 	鉄骨造 4階建	4階以上 (2,834人)	


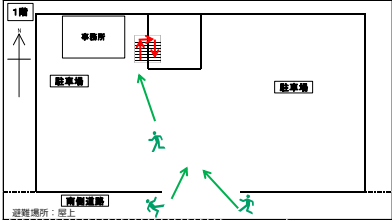
潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（2/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 8	<p>アステールK</p> 	鉄筋コンクリート造 7階建	4～7階廊下 (300人)	
潮江東 9	<p>旧高知南中学校・ 高等学校 (指定避難所)</p> 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 4階建	北舎4階及び 屋上、南舎4階 (2,366人)	
潮江東 10	<p>フィッシングハヤシ</p> 	鉄筋コンクリート造 5階建	4階通路及び事務 所、5階通路及び バルコニー (506人)	
潮江東 11	<p>有料老人ホーム つばさ</p> 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階エレベーター ホール、4階屋上 (294人)	
潮江東 12	<p>介護老人保健施設 梅寿苑</p> 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階及び5階： 廊下及びバルコニー 6階：廊下、バル コニー及び脱衣室 7階：廊下、会議 室及び屋上 (604人)	
潮江東 13	<p>潮江高橋病院 北棟</p> 	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 6階建	6階：職員食堂 及び休憩室 (73人)	


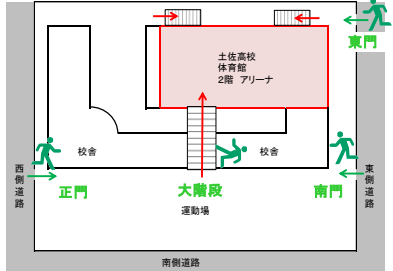

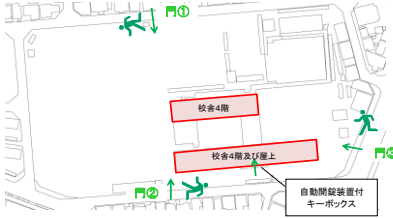

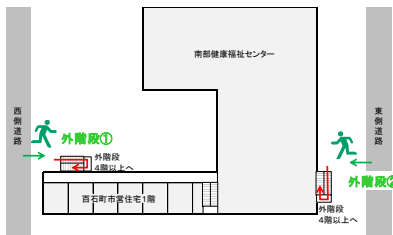

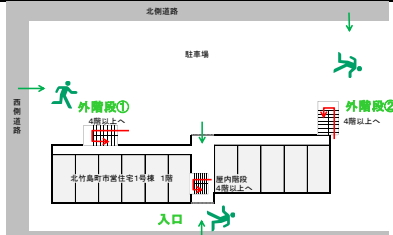

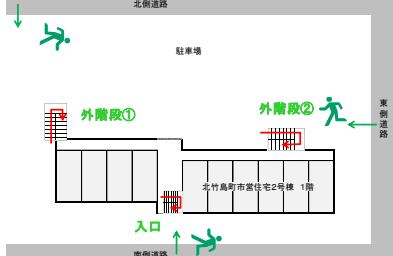

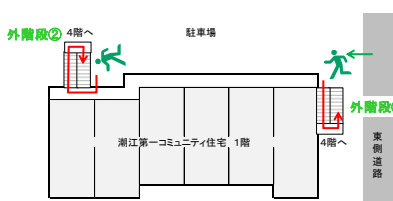
潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（3/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 14	Hotel Ko's Style 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 6階建	4階及び5階：廊下、 バルコニー及びエレベーターホール 6階：屋外テラス、 バルコニー及びエレベーターホール (191人)	
潮江東 15	メゾン・レーヴ潮江 	鉄骨造 4階建	4階廊下 (33人)	
潮江東 16	潮江マンションA 	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ造 10階建	4階以上廊下及び エレベーターホール (531人)	
潮江東 17	ポートハイム28 	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ造 9階建	4階以上廊下及び エレベーターホール (164人)	
潮江東 18	(株) 轟組 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4階建	4階ホール、和室 及びテラス (599人)	
潮江東 19	高知港湾合同庁舎 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3階建	屋上一部 (125人)	
潮江東 20	潮江市民図書館 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4階建	4階：プレイルーム 和室、廊下、ベランダ 屋上 (424人)	

潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（4/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 21	トランスポート 避難ビル 	鉄骨造 2階建	2階屋上 (126人)	

潮江小学校区：津波避難ビル一覧（1/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 1	土佐中学校・高校 	鉄筋コンクリート造 3階建	体育館棟アリーナ (1,736人)	
潮江 2	潮江中学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	校舎4階及び屋上 (1,921人)	
潮江 3	百石町市営住宅 	鉄筋コンクリート造 10階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを除く) (1,204人)	
潮江 4	北竹島町 市営住宅1号棟 	鉄筋コンクリート造 11階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを除く) (1,280人)	
潮江 5	北竹島町 市営住宅2号棟 	鉄筋コンクリート造 11階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを除く) (1,200人)	
潮江 6	潮江第一 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (居住スペースを除く) (45人)	


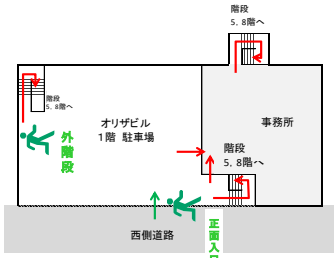

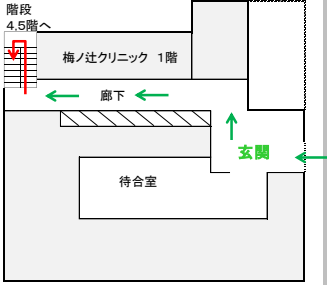

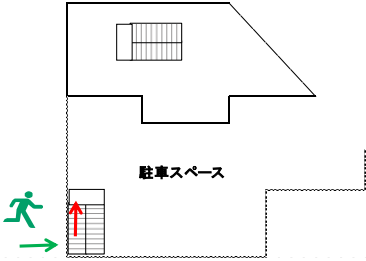

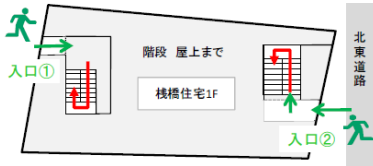

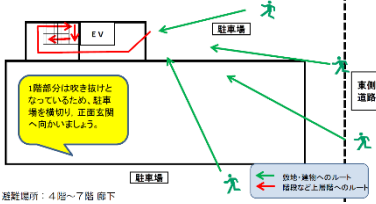
潮江小学校区：津波避難ビル一覧（2/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 7	潮江第二 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下、 バルコニー、コミ ュニティスペース (居住スペースを 除く) (704人)	
潮江 8	潮江第三 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 5階建	4階以上廊下 (居住スペースを 除く) (116人)	
潮江 10	高知工業高校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	1号館、2号館 及び3号館の4階 教室及び廊下、 2号館屋上 (2,213人)	
潮江 11	リヴィエール大高 	鉄筋コンクリート造 8階建	4～8階廊下 及び屋上 (468人)	
潮江 12	ジョンマンマンション 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下等 共用スペース (居住スペースを 除く) (36人)	
潮江 13	セントラル ディーボ棧橋店 (立体駐車場) 	鉄骨造 5階建	立体駐車場 4階以上 (2,075人)	

潮江小学校区：津波避難ビル一覧（3/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 14	<p>潮江小学校 (指定避難所)</p> 	鉄筋コンクリート造 3階建	中舎及び南舎屋上 (1,422人)	
潮江 15	<p>エルミタージュ天神</p> 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下 (66人)	
潮江 16	<p>クリアフジモト</p> 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (104人)	
潮江 17	<p>パル・ポナール</p> 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (18人)	
潮江 18	<p>セントヴィレッジ</p> 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下 (47人)	
潮江 19	<p>カームリヴ</p> 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (150人)	


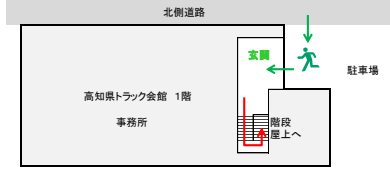

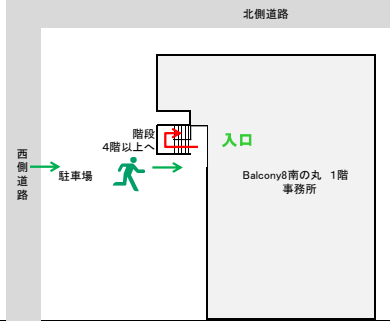
潮江小学校区：津波避難ビル一覧（4/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 20	オリザビル 	鉄筋コンクリート造 8階建	5階：廊下、 エレベーターホール、 休憩室、デイルーム 8階：屋上庭園 (319人)	
潮江 21	梅ノ辻クリニック 	鉄骨造 5階建	4階：エレベーター ホール、パワー リハビリテーショ ン室、バルコニー 5階：廊下、エレ ベーターホール、 会議室、医局 (228人)	
潮江 22	四国銀行 潮江支店 	鉄筋コンクリート造 3階建	2階屋上及び 3階屋上 (160人)	
潮江 23	棧橋住宅 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造) 10階建	屋上 (249人)	
潮江 24	ライフ 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階～7階廊下 (84人)	

潮江南小学校区：津波避難ビル一覧（1/2）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江南 1	潮江南小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	北舎4階及び屋上 南舎屋上 (コンピュータ室 を除く) (1,699人)	
潮江南 2	高知河川国道事務所 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階大会議室 (50人)	
潮江南 4	第2六泉寺ビル 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (45人)	
潮江南 5	新高産業社屋 	鉄骨造 4階建	事務所棟及び 工場棟屋上 (485人)	
潮江南 6	マルハン高知棧橋店 (立体駐車場) 	鉄骨造 4階建	立体駐車場 (4階及び屋上) (3,469人)	

潮江南小学校区：津波避難ビル一覧（2/2）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江南 7	高知県トラック会館 	鉄筋コンクリート造 4階建	屋上 (78人)	
潮江南 9	Balcony8 南の丸 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (100人)	

② 臨時情報について

資料： 臨時情報について

1 南海トラフ地震臨時情報

(1) 南海トラフ地震臨時情報とは

「南海トラフ地震臨時情報」（以下、臨時情報）は、南海トラフ地震の想定震源域又はその周辺でM6.8以上の地震が発生した場合や南海トラフ地震の想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した場合に、それらに対する調査開始の旨、そして、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において調査した結果、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。



(参照：海上保安庁海洋情報部と中央防災会議資料をもとに高知大学総合研究センター改変)

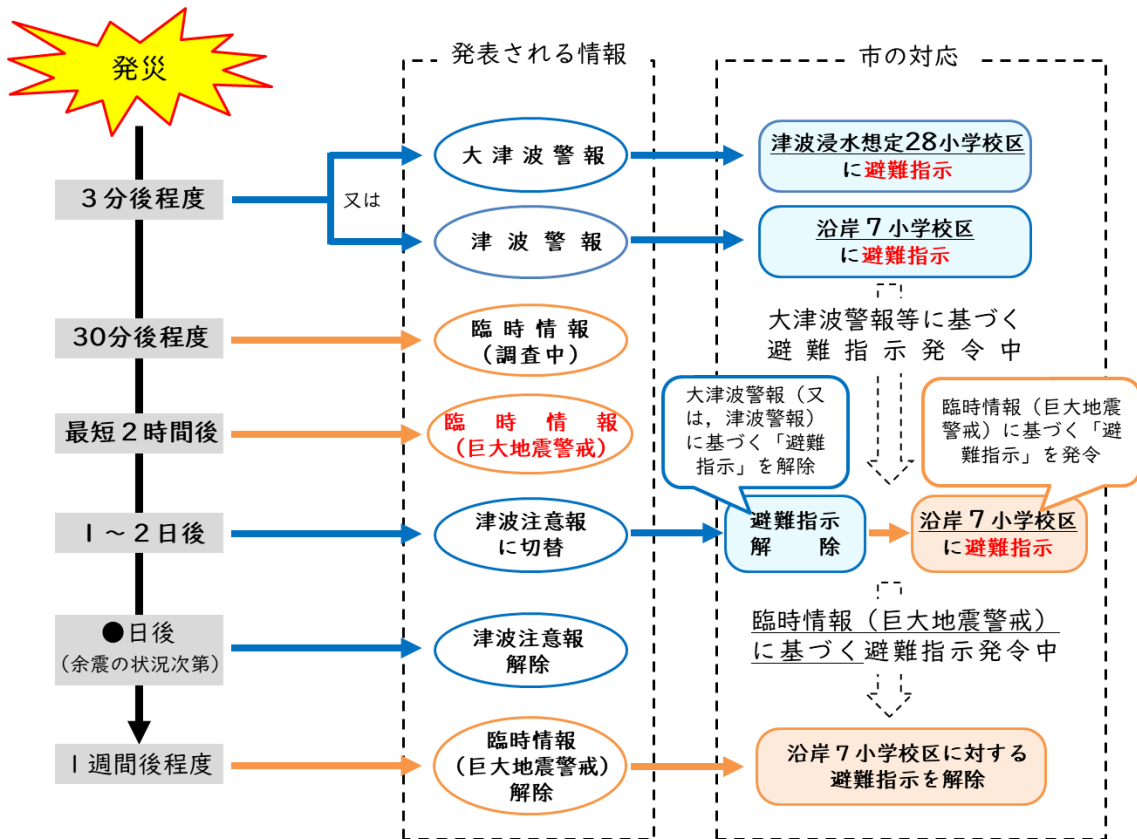
図 南海トラフ地震の想定震源域

異常な現象の発生後、5～30分程度で調査の開始を知らせる「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されます。この調査の結果は、地震発生の可能性が相対的に高まっている、発生後2時間程度で改めて調査結果が臨時情報として発表されます。各情報（調査結果）の内容及び発表後の防災対応の詳細については、次頁（表 臨時情報の発表と防災対応の内容）を参照ください。

表 臨時情報の発表と防災対応の内容

情報名	発表の条件	防災対応
南海トラフ地震 臨時情報 <u>(巨大地震警戒)</u>	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、Mw8.0以上の地震が発生したと評価された場合	【巨大地震警戒対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ・津波からの避難が間に合わない一部の地域（事前避難対象地域）では引き続き1週間避難を継続 ※ 1週間で「巨大地震注意対応」に引き下げられる。
南海トラフ地震 臨時情報 <u>(巨大地震注意)</u>	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、 ・Mw7.0以上の地震（巨大地震警戒に該当する場合を除く）（※1） ・通常と異なるゆっくりすべり（※2）が発生したと評価された場合等	【巨大地震注意対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ※ 1週間程度で解除される。 ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。
南海トラフ地震 臨時情報 <u>(調査終了)</u>	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価された場合	通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。

※1 想定震源域、またはその周辺で Mw7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の Mw8.0 以上の地震を除く）
 ※2 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりしたずれによる地殻変動を観測した場合など



青色：東側で発生した地震に関連した情報及び対応
 橙色：西側で発生するおそれのある後発地震に関連した情報及び対応

図 南海トラフの東側でMw8.0以上の地震が発生した場合（半割れケース）の対応フロー

2 臨時情報発表時の避難行動

(1) 臨時情報発表時の避難行動の考え方

地震や津波からの避難対策は、基本その場での突発的な対応が基本になりますが、高知市では、より安全に避難を行うための手段として、臨時情報を活用して事前避難対象地域に対しての避難指示の発令のほか、日頃からの地震への備えの再確認や、自主的な避難の呼びかけなどの防災対応を実施します。

① 事前避難対象地域

30cm以上の津波浸水が地震発生から30分以内に生じる地域について、当該地域を事前避難対象地域として設定し、巨大地震警戒対応時には当該地域に居住している方等を対象に、避難指示を発令します。

高知市の事前避難対象地域は、次のとおりです。

【事前避難対象地域】※ 以下7地区のうち、()内に記載の全部、または一部の地域

- ・ 浦戸小学校区（浦戸）
- ・ 長浜小学校区（長浜、御畳瀬）
- ・ 横浜小学校区（横浜、瀬戸東町1丁目、瀬戸東町2丁目、横浜西町、横浜東町、瀬戸1丁目、瀬戸2丁目）
- ・ 三里小学校区（種崎、仁井田）
- ・ 十津小学校区（十津2丁目、十津5丁目、十津6丁目、仁井田）
- ・ 春野東小学校区（東諸木、甲殿）
- ・ 春野西小学校区（仁ノ、西畑）

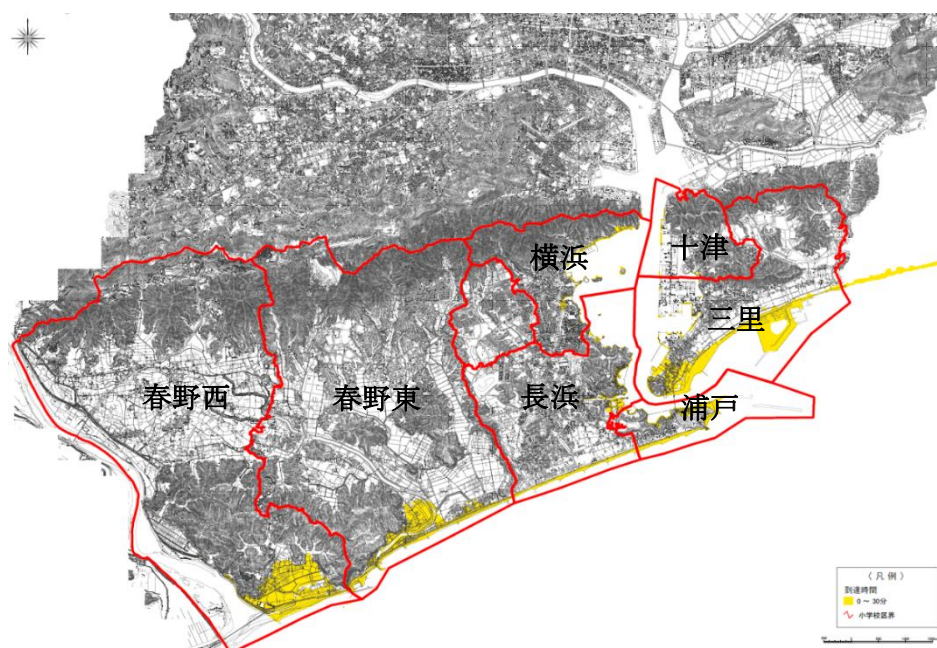


図 高知市の事前避難対象地域（黄色箇所）

事前避難対象地域に居住している方だけでなく、その周辺の方についても、それぞれの状況を考慮し、地震発生後の避難では間に合わないおそれがあると判断した場合、浸水想定区域外の親類や知人宅を基本とした自主避難をしていただくことが必要です。

② 自主的な避難を呼びかける地域

避難指示を発令する事前避難対象地域（またはその周辺地域）にお住まいの方以外の一部の方について、親類や知人宅を基本とした自主避難を呼びかけます。

自主的な避難の呼びかけを行う対象は、次のとおりです。

- **津波到達時間が短く地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者**

事前避難対象地域に加えて、各人の状況により、地震発生後の避難では間に合わないおそれがある居住者を対象に、自主避難を呼びかけます。

- **耐震性の不足する住宅にお住まいの方**

地震の揺れで倒壊する可能性が高く、避難が困難になることから、臨時情報発表時には、自主的な事前避難を呼びかけます。

- **斜面崩壊のおそれがある範囲にお住まいの方**

地震による土砂災害が発生する可能性が高い範囲として、「土砂災害警戒区域」の斜面際からの距離がおおむね 10 メートルの範囲内に居住されている方を対象に自主的な事前避難を呼びかけます。

臨時情報は地震発生の可能性の高まりを知らせるものであるため、地震発生可能性と防災対応の実施による日常生活・企業活動への影響のバランスを考えつつ、それぞれがより安全な行動を選択することが必要です。

3 開設される避難所について

臨時情報発表時開設される避難所は、命や財産の安全を最大限図るために設けられる「一般基準」、または、日常生活などを可能な限り阻害しないために設けられる「特別基準」を満たした施設の中から選定し開設します。

これらの基準は、臨時情報（巨大地震警戒）が発表された際の最初の地震発生から 1 週間程度の間開設される避難所に適用されます。1 週間以降 2 週間経過まで、もしくは臨時情報（巨大地震注意）が発表された際には、親類や知人宅への避難が基本になります。

(1) 一般基準

命や財産の安全を最大限図るため、地震が発生した場合にも一定の安全が確保できる施設を選定する基準が「一般基準」です。一般基準によって選定される避難所は、以下のすべての条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【一般基準】

- 津波浸水想定区域外であること
- 土砂災害警戒区域外であること
- 耐震性を備えていること
- 一定の駐車スペースがあること

表 一般基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	第四小学校 (体育館)	上町二丁目1-11	616	308	有	なし	なし	有	有
2	小高坂	城西中学校 (体育館)	大膳町3-5	795	397	有	なし	なし	有	有
3	旭街	旭小学校 (体育館)	本宮町16	801	400	有	なし	なし	有	有
4	旭街	横内小学校 (体育館)	横内242-13	908	454	有	なし	なし	有	有
5	旭街	高知特別支援学校 (体育館)	本宮町125	687	343	有	なし	なし	有	有
6	初月	初月小学校 (体育館)	南久万128	886	443	有	なし	なし	有	有
7	朝倉	朝倉小学校 (体育館)	朝倉本町二丁目11-20	758	379	有	なし	なし	有	有
8	朝倉	朝倉第二小学校 (体育館)	若草南町23-56	1,046	523	有	なし	なし	有	有
9	鴨田	鴨田小学校 (体育館)	鴨部1155	1,119	559	有	なし	なし	有	有
10	鴨田	神田小学校 (体育館)	神田1174-1	878	438	有	なし	なし	有	有
11	鴨田	西部中学校 (体育館)	鴨部一丁目9-1	800	400	有	なし	なし	有	有
12	秦	秦小学校 (体育館)	愛宕山19	756	378	有	なし	なし	有	有
13	長浜	横浜新町小学校 (体育館)	横浜新町五丁目2201	904	452	有	なし	なし	有	有
14	介良	介良潮見台小学校 (体育館)	潮見台一丁目2602-1	1,068	533	有	なし	なし	有	有
15	土佐山	旧土佐山中学校 (体育館)	土佐山弘瀬405	763	379	有	なし	なし	有	有
16	春野	春野西小学校 (体育館)	春野町弘岡中2501	618	309	有	なし	なし	有	有
17	春野	春野中学校 (体育館)	春野町西分328	1,034	517	有	なし	なし	有	有
合計				14,437	7,212					

(2) 特別基準

事前避難による日常生活及び企業活動の阻害を可能な限り減らすため、一般基準のほかに特別基準を設け、開設する避難所を追加で選定します。

特別基準によって選定する避難所は、次頁の条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【特別基準】

- ・ 津波浸水想定区域内にあるが、建物の上階であれば津波浸水をしない避難スペースが確保できる施設
- ・ 避難所の敷地の一部が土砂災害警戒区域内にあるが、実際の避難スペースである建物等が土砂災害警戒区域外にあるなど、最低限安全が確保できる施設
- ・ その他、実際の事前避難者数や開設避難所の偏りなど、地域の実情に応じて順次開設施設を追加

特別基準は、浸水想定区域内に居住している方が必ずしも最寄りの避難所に入ることと求めたものではありません。それぞれの通勤や通学などといった日常生活の状況を考慮し、避難所を選択できるようにしたものです。

特別基準を満たしている避難所は、次のとおりです（表 特別基準を満たしている避難所）。

表 特別基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	旭街	旭東小学校（体育館）	北端町51	548	274	有	なし	校舎は該当	有	有
2	長浜	横浜中学校（体育館）	横浜新町一丁目401	855	427	有	なし	校舎は該当	有	有
3	長浜	長浜小学校（校舎・2階以上）	長浜4811	1,716	858	なし	(1-2m)	なし	有	有
4	長浜	南海中学校（校舎・2階以上）	長浜5235	1,800	900	有	(0.3-1m)	なし	有	有
5	高知街	第六小学校（校舎・2階以上）	升形9-4	773	386	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
6	北街	はりまや橋小学校（校舎・2階以上）	はりまや町二丁目14-8	1,059	529	有	(1-2m)	なし	有	有
7	下知	昭和小学校（校舎・3階以上）	日の出町7-61	1,165	582	なし	(2-3m)	なし	有	有
8	江ノ口	愛宕中学校（校舎・2階以上）	相模町1-54	1,321	660	なし	(1-2m)	なし	有	有
9	江ノ口	一ツ橋小学校（校舎・2階以上）	吉田町4-10	1,167	583	なし	(1-2m)	なし	有	有
10	江ノ口	城東中学校（校舎・3階以上）	江陽町1-20	387	193	なし	(2-3m)	なし	有	有
11	江ノ口	江陽小学校（校舎・3階以上）	江陽町1-30	208	104	なし	(2-3m)	なし	有	有
12	江ノ口	江ノ口小学校（校舎・3階以上）	新本町一丁目8-12	800	400	なし	(2-3m)	なし	有	有
13	小高坂	小高坂小学校（校舎・2階以上）	新屋敷一丁目11-5	808	404	有	(0.3-1m)	なし	有	有
14	小高坂	城北中学校（校舎・2階以上）	八反町一丁目8-14	1,724	862	有	(0.3-1m)	なし	有	有
15	潮江	潮江中学校（校舎・3階以上）	塩屋崎町一丁目2-20	1,354	677	なし	(2-3m)	なし	有	有
16	布師田	布師田小学校（校舎・2階以上）	布師田1781-1	300	150	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
17	一宮	一宮小学校（校舎・2階以上）	一宮西町一丁目9-1	1,553	776	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
18	一宮	一宮中学校（校舎・2階以上）	一宮南町一丁目3-1	1,795	897	なし	(1-2m)	なし	有	有
19	大津	大津中学校（校舎・3階以上）	大津乙740-1	646	323	なし	(2-3m)	なし	有	有
20	大津	大津小学校（校舎・2階以上）	大津乙972	1,016	508	なし	(1-2m)	なし	有	有
21	介良	介良中学校（校舎・3階以上）	介良乙2620	583	291	なし	(2-3m)	なし	有	有
22	介良	介良小学校（校舎・2階以上）	介良乙2735-1	1,482	741	なし	(1-2m)	なし	有	有
23	五台山	青柳中学校（校舎・3階以上）	五台山3923	818	409	なし	(2-3m)	なし	有	有
合計				23,878	11,934					

※1 津波浸水のある施設は、浸水想定を踏まえて施設の上階を避難スペースとする。

※2 津波浸水が3メートルを超えると想定されている施設、津波浸水及び土砂災害の両方に該当する施設については、避難者の安全を確保することが困難であるため、開設避難所候補から除外している。

(3) 巨大地震注意対応時の開設避難所

巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難が基本になりますが、知人宅等への避難ができない場合を想定して、自主避難者を受け入れる避難所を開設します。この場合の開設避難所は、大雨・台風時に優先的に開設する避難所を候補とします。

巨大地震注意対応時の開設避難所の候補は、次（表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補）のとおりです。

表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L 2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	龍馬の生まれたまち記念館	上町二丁目 6-33	137	68	有	なし	なし	有	有
2	下知	弥右衛門ふれあいセンター	北御座 2-60	659	329	有	(2-3m)	なし	有	有
3	下知	下知コミュニティセンター	二葉町10-7	304	152	有	(3-5m)	なし	有	有
4	江ノ口	江ノ口コミュニティセンター	愛宕町一丁目10-7	258	129	有	(1-2m)	なし	有	有
5	旭街	木村会館	旭町三丁目121	606	301	有	なし	なし	有	有
6	潮江	潮江市民図書館	棧橋通二丁目 1-50	636	316	なし	(2-3m)	なし	有	有
7	三里	三里ふれあいセンター	仁井田4229-2	221	110	有	(0.3-1m)	なし	有	有
8	五台山	五台山ふれあいセンター	五台山2945-2	336	167	有	(3-5m)	なし	有	有
9	高須	高須ふれあいセンター	高須新町二丁目 5-15	130	65	有	(2-3m)	なし	有	有
10	布師田	布師田ふれあいセンター	布師田1647	139	68	有	なし	該当	有	有
11	一宮	一宮ふれあいセンター	一宮中町一丁目 5-20	104	52	有	(0.3-1m)	なし	有	有
12	秦	秦ふれあいセンター	中秦泉寺54-3	210	104	有	なし	なし	有	有
13	初月	初月ふれあいセンター	南久万119-1	94	47	有	なし	なし	有	有
14	朝倉	朝倉ふれあいセンター	曙町一丁目14-12	168	84	有	なし	なし	有	有
15	鴨田	鴨田ふれあいセンター (※西部健康福祉センター)	鴨部860-1	828	414	有	なし	なし	有	有
16	長浜	長浜ふれあいセンター	長浜690-5	150	74	有	(1-2m)	なし	有	有
17	御畳瀬	御畳瀬ふれあいセンター	御畳瀬252	173	86	有	(2-3m)	該当	有	有
18	浦戸	浦戸ふれあいセンター	浦戸274-9	147	73	有	(3-5m)	なし	有	有
19	大津	大津ふれあいセンター	大津乙930-5	165	81	有	(1-2m)	なし	有	有
20	介良	介良ふれあいセンター	介良乙2286	141	70	有	(1-2m)	なし	有	有
21	鏡	中山間地域構造改善センター	鏡小浜 8	456	227	有	なし	該当	有	有
22	土佐山	土佐山公民館	土佐山122-1	258	128	有	なし	なし	有	有
23	春野	あじさい会館	春野町西分 1-1	357	178	有	なし	なし	有	有
合計				6,677	3,323					

※ 巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難を基本としているが、知人宅等への避難が困難な場合に、上記施設のうちから、津波浸水がなく、かつ、土砂災害警戒区域に該当しない施設から順次開設予定。

③ 潮江南小学校区津波避難行動支援マップ (平成 27 年度作成)

(A3 津波避難行動支援マップ 差し込み)

※ 「潮江南小学校区津波避難行動支援マップ」については、高知市ホームページで閲覧されている方は同ページの「津波避難行動支援マップ」をご覧ください。

作成・改訂履歴

作成・改訂年月	内容
平成 26 年 3 月	作成
平成 28 年 3 月	データ更新
令和 2 年度	検証を実施
令和 3 年 3 月	データ更新
令和 4 年 12 月	データ更新
令和 6 年 3 月	データ更新
令和 7 年 3 月	データ更新

令和7年3月
高知市防災対策部
地域防災推進課